



こうほう

—総代会、各本部全体会議特集—



DENNET

デンネット“DENNET”は電気(Denki)工
事業で固く結ばれた協同集団(Network)
を意味して造られた組合の略称です。

第 128 号

平成25年(2013年)7月10日

石川県電気工事工業組合

『こまつ曳山交流館 みよっさ』

小松市は、これまでお旅まつりでしか目にすることができなかった曳山2基を常設展示し、その迫力ある姿を間近にご覧いただくこまつ曳山交流館『みよっさ』をこの5月1日にオープンさせた。

小松の匠の技と粋の結集である絢爛豪華な曳山。毎年5月のお旅まつりでは、その曳山を舞台にした歌舞伎が250年もの間演じられています。子供たちの熱演と、それを支える町衆の心意気に小松のまちは酔いしれます。

現存する曳山は8基。曳山展示のほか、歌舞伎メイクや三味線などの和楽器演奏他バラエティー豊かな体験メニューを取り揃えています。見て、聞いて、触れて、感じて、小松の歌舞伎の世界をまるごとお届けします。

お旅まつり

小松市浜田町の菟橋(うばし)神社と同市本折町の本折日吉神社の春季例大祭。

小松城に隠居した加賀藩三代藩主・前田利常寄進の神輿が大獅子、子供獅子とともに城下を巡行し、小松の繁栄を祈ったことが由来とされます。

その神輿が渡り歩く様子を「旅」といい、「お旅まつり」の名称になったといわれます。

曳山と曳山子供歌舞伎

小松のまちが飛躍的に発展したのは1640(寛永17)年に、前田利常が隠居して小松城に入ってからです。武士のその家族、商人・職人が住み、一時1万人近い城下町となり、今に伝わる諸産業が発展します。

特に絹織物が大きな富をもたらし、高い教養と粋をそなえた町人たちによって茶道や能などの芸術文化の華が開きました。

お旅まつりで上演される曳山子供歌舞伎は豊かなこの町人文化を背景に1766(明和3)年頃、龍助町を西町から始まったとされます。現在は市内の八町が曳山を所有し、毎年当番の二町が上演を行っています。



「みよっさ」館内の曳山展示

目 次

新年度のご挨拶	1
第72期通常総代会	9
第51回優良従業員表彰式	18
3本部、相次いで全体会議開催	22
電気保安優良電気工事業者 石川県中小企業団体中央会会長表彰	26
電気使用安全月間行事	27
各本部だより	29
青年部だより	38
資 料	42
お知らせ	54

送電分離反対を強く表明

理事長 米 沢 寛



組合は今日まで地域のひとたちの生活に密着、電気の安定供給にかかわる技術者集団として安心、安定をモットーに電気を届けてきました。折から、電力システム改革が進められようとしています。東日本大震災を境に原子力発電のあり方が問われ、電気の問題は原子力発電の再稼働をはじめ電力の自由化、さらには送電分離へと議論が白熱しています。送電分離については経済成長の促進をメリットとして期待されていますが、電気工事業に関係するものとして疑問です。

震災後、日本のエネルギー問題についてはいまだ総論も定まっていないうなか、再生可能エネルギーや原子力発電などの各論のみが先行しています。小売り自由化や広域系統運用はともかく、送電分離はそのメリットが見えず、分離によって電気料金が下がるとはとてもいい難く、最も重要とすべき安定供給をなぜ不安定とする方向に移行しようとするのか、改革案が突出されるのは電気工事業界ならずとも疑問です。

先の東日本大震災時において最も早く電気が復旧した現実をみるまでもなく、これは今日まで電力会社と電気工事業界が長い歴史のなかで一体となって技術を磨き、信頼関係を築いてきた結果であるからにはほかならず、こうした日本の電気の文化ともいえるべき関係が損なわれることに大きな危惧感を抱きます。先の全日電工連通常総会では送電分離を全会一致で反対決議しました。送電分離はお客様

が直接、蒙る社会的ともいえるべき大きな影響を及ぼすものであり、私たちは社会に向け広く反対を唱えていかなければなりません。

全日電工連は昭和58年から毎年開催してきました全国大会、今年は第30回を迎えることからこれを一つの節目として今後は隔年開催とし、中間年は「電気工事技能全国大会」を開催することになりました。従来の電気工事技術に加え近年のトレンドに対応した技術を取得する機会とします。時代の要請にすばやく応えるためにも技術水準の向上をめざし、顧客満足と安全・安心して電気をお届けすることを目的とします。電気保安の確保を担う電気工事業界の発展に寄与する機会にしたいと思います。

新たな技術の取得も業界にとっては大きな課題です。自動車メーカーとの間で取り組んできたEV（電気自動車）施工パートナー認定制度の創設、EV用充電器設備設置工事業務の提携、今年は日産自動車など8社と施工業務提携をします。情報通信工事、LEDリニューアル工事等業務提携も増加の傾向にあることから、「横に拡げる頑張る組合員支援」を積極的に推進したいと考えています。

石川県電気工事工業組合は、先輩達のご尽力で全国の中でも先進的な活動を続けています。これからも全国工組を牽引する組合として頑張ります。より一層のご指導、ご支援をお願いします。

新年度を迎えて

副理事長兼
加南本部長
(広報担当)

川 腰 利 榮



組合員の皆様方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は組合事業運営に関し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

第72期通常総代会も慎重審議の下終える事が出来ました。

さて、昨年は、円高、デフレスパイラルの長期化や近隣諸国との摩擦から競争力が低下し、貿易赤字の拡大や雇用の縮小など閉塞感が払拭できない感がありました。年末に新政権が発足し、経済政策や日銀の金融緩和に期待感も高まり株価や消費マインドが大幅に改善しましたが、実態の無い経済政策や風評ですが、一部の投資家による思惑で株価、為替の乱高が続いております。日銀はそれでも緩やかな回復基調と発表していますが私には不安感は拭えません。

電気工事業界では、政府の公共投資の政策転換により、公共建設・土木工事が増加し、住宅着工戸数も序々に回復し、省エネや環境関連設備工事も年間を通して順調に推移し明るさが見えはじまりましたが、過当競争、価格破壊が定着したような感があり経営環境には厳しいものがあります。

組合の主事業であります配電工事は大変厳しい社会情勢の中、北陸電力株式会社様より思いやりの発注を頂き外線工事及び引込線工事ともに前年度実績を上回る工事量、工事費となりました。ただ加南本部では8月に2週間の間に3件もの災害並びに重大災害になりかねない事故を起し、北陸電力株式会社様はじめ組合並びに組合員の皆様に多大なご迷惑をお掛けしました。本部長として深くお詫びを申し上げます。

小松支社様からは、それぞれの事業者が発生させたものでなく、組合が起したものと捉えて抜本的な再発防止策を早急に行うよう強い要請があり、加南本部として災害事故再発防止対策検討会を緊急に立ち上げ、小松支社様からの4項目の提言を軸に新たな安全・施工品質管理体制を構築して再発防止に努めております。本年度も北陸電力株式会社様よりほぼ昨年度並みの工量提示を頂いております。外線、引込線、内線施工者の皆様には襟を正して工事に取り組んでいただきたいと思います。関連各位様にはご指導、ご鞭撻をよろし

くお願い致します。

加南本部では、一昨年本部として取り組みました電化フェアも、震災後の電力会社を取り巻く厳しい社会情勢や経営状況から電化普及手数料が廃止され、オール電化と言うキャッチフレーズの言葉がダウンする中、北陸電力リビングサービス様の要請もございましたが昨年度は活動を控え、実績は前年度の5割強程でしたが皆様の拡販営業努力に感謝申し上げます。

組合員の工事の多くが占める内線工事面では、施工証明の活用率も95%を超え、非常に喜ばしいことですが活用率が上がっている割には不良率、手直し工事の指摘率がなかなか下がりません。何故でしょうか？ 上位にランクされるのは相変わらず接地工事の不良ですが、最近では電力計器の接続誤りが多発し、プロ集団として今後を憂慮する事態であり、全組合員に計器工事教育の受講を修了させ再発防止に努めています。現場施工者とチェックする技術者が違うのでは？、自社のチェック体制をもう一度見直すことも大切かと思えます。お客様の立場に立ったきめ細かな提案型技術営業活動やコンサル型営業活動には信用される技術者である事が大切かと思えます。

エネルギー自給率が低い日本にとって安定性、経済性に優れ、発電時にCO₂を出さない原子力発電は非常に重要な電源であります。しかし昨年、灯りました小さな原子力の火がなかなか大きくなる兆しは見えてきません。反対にハードルが高くなる一方のような気がします。ストレステストに続きフィルター付ベント装置設置等、志賀原発でも敷地内シームの追加調査等、求められる事が厳しくなる一方です。先日シーム追加調査を終えられ6月6日に原子力規制委員会に報告されたとの説明を受けましたが、運転再開にはまだまだ紆余曲折があるように思われます。我々電気業界に生きる者として志賀原発の一日でも早い稼働をご祈念申し上げます。

最後になりましたが、本年も組合事業運営に一段のご尽力を賜りますようお願い致しまして新年度の挨拶とします。

新年度を迎えて

副理事長
(環境担当)

日向 捷 久



暑さ厳しき折りではございますが、皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は組合運営に多大なご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

この度の役員改選により、副理事長二期目を仰せつかりました。お引受けした以上は、組合員の方々からのご指導ご鞭撻を戴きながら誠心誠意その任を遂行していきたいと思ひます。

東日本大震災後、エネルギー供給源のあり方、発送電分離が社会問題として問われています。火力依存体質がさらに強まれば当然、化石燃料の増加によるCO₂増加や生産コストの上昇など国民生活のみならず、産業空洞化の加速につながりかねない大きな社会問題となります。時宜を得た判断は欠かせず、安全が大前提なのは言うまでもないが、基準を審査する体制の不備で、再稼働が遅延することは許されないですし、再稼働が遅れば遅れるほど国富流出、料金引き上げ、債務超過のリスクが高まると予想されます。電気は我々が生活する上で、安全かつクリーンなエネルギーであり、電気を使用するお客様のより一層の「安心・安全」に役立てていきたい。志賀原子力発電所の一日も早い再稼働により電力の安定供給が組合員の総意でもあります。

また、昨今、従来からの地域電気工事店、家電量販店に加え、無店舗販売（インターネット・TV通信販売等）が急速に増加するなど、もはや街の電気屋さんの時代ではない販売形態の多様化が進展してきています。こうした中、特にネット通販における家電の販売については、その規模、事業者数等の実態も必ずしも明らかになっていないようです。こうした家電流通をめぐる現状を踏まえ、地域電気工事店の今後の役割、多様化する

家電流通の実態の把握、特にインターネットを経由した販売の実態の把握をすることが重要となつてきています。

2年後には北陸に新幹線が開通します。街そのものは、それに合わせて明るくなりつつありますが、組合員の皆様が企業を存続させるために大変なご努力をされていることと思われます。我々の業界にとっては、まだまだ厳しい時代が続くのではないかと思います。昨年末に政権が交代して以降、日本経済は明らかに新しいステージの扉が開き、明るさが見えてきたようで、景気回復への期待が大きく膨らんでいるようです。インターネット業界を始めとした様々な産業の発達によるエネルギー需要の増加と設備の老朽化、環境を配慮した太陽光発電を始めとするエコ商品への切換え、電気自動車普及に向けた充電設備の拡大、更には、エネルギー問題に端を発したスマートグリッド構想等、どれも電気工事抜きには実現できないものばかりです。こうした様々な要因から、電気に関わる産業全体に追い風が吹いているようです。本年2013年が、飛躍のターニングポイントであったと振り返ることが出来るよう組合としても皆様と共に、知恵を出しながら新たな気持ちで、さらには、地域に密着した組合の活性化、信頼される組合を目指して運営して参りたいと存じます。

結びとなりますが、御世話になります北陸電力株式会社様には今後共御指導、御鞭撻を御願い申し上げますと共に、組合員各位のより一層のご健勝、ご多幸ご繁栄を祈念致しまして、新年度のご挨拶とさせていただきます。

発 想 の 転 換

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

川 島 克 文



さわやかな初夏を迎え、組合員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年末に新政権が発足し、アベノミクス効果で円安、株高へと動き、年明け以降は企業の業績回復や、消費マインドの改善に繋がりがつつあります。

しかしながら、地方の経済状況はその効果を実感するには、まだまだ時間を要し厳しい状況にあります。今こそ、地域に根ざした活動を展開すると共に、何事にも「本気で向き合う」姿勢で物事に対応していかなばなりません。

今年は、公私全てにおいて発想を少し、転換してみようかと思っています。

自からの価値観を破ることにより、これまで損得を考える基準としてきたあらゆる価値観に、少しばかり批判的な目を向けてみてはどうでしょうか。私達には何の根拠もなく信じ込まされた分別の基準があります。

この「常識」を一度覆されてみないことには、今日の複雑な世の中、真に出遇うべきものが見えてこないように思えます。

自分では当たり前のことをやっているつもりですが、「普通じゃない」、「そんな考え方で世の中やっていけんぞ」とよくいわれます。

しかし、「やっていけんぞ」といわれ続けて六十年以上の間、何とかやってきました。

その時々状況や環境によって「常識」と

「非常識」は容易に入れ替わります。

「逆説」という字句を辞書で調べてみると、「一般的な見解とは矛盾しているようであるけど、一種の真実を含んだ説」と記述されていました。「何でもかんでも全部否定しろ」という訳ではありません。

「逆もまた真なり」と申します。

日々の仕事においても、「一度振り返ってみよう」と注意すればよいことであって、「常識」というだけで受け入れてしまうような安易な考え方はいかななものかと問いたいのです。

平成24年度は、配電工事では3年振りに、内線工事では5年間「ゼロ災害」を達成しています。これ一重に、皆様方の安全意識高揚の賜物であります。平成25年度も、安全作業を第一に施工品質管理の徹底をはかっていただきますようお願い致します。

支離滅裂となりましたが、組合行事、活動等におきましては、今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

安全・安心最良の施工を

常務理事兼
金沢本部長
(電設担当)

中 村 唯 夫



猛暑の候、組合員の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度の役員改選により、金沢本部長二期目を仰せつかりました。先輩役員、組合員の方々からのご指導ご鞭撻を戴きながら誠心誠意その任を遂行していきたいと思いをします。

昨年度を振り返りますと、北陸電力株式会社様からの配電工事受注では、志賀原子力発電所が稼働していない中、ご配慮戴き着実に成果を上げることが出来たことに感謝申し上げます。また、昨年度の景況は厳しいものでしたが、来年に控えた消費増税前の住宅駆け込み需要や公共工事の増加等で、我々の業界にも明るい兆候が見えてくることと思いますが、このような時こそ周囲の追い風に浮かれて油断することなく、その後に間違いなくやってくるであろうとする反動に備え、強固な経営基盤を作り上げる努力をしておくべきでないでしょうか。

さらなる業界の発展を目指すためには、お客様に「安全・安心」な電気設備と「快適・便利」でスマートな電化ライフをご提供することが基本であると考えます。「電気設備技術基準」「内線規程」を遵守し、施工後の自主点検については、確実に実施しなければなりません。しかしながら、竣工調査においては、接地工事不良が全不良工事の6割以上を占めています。更に、計器工事の誤結線による逆

転についても二度と起こらないよう電気工事の竣工後においては、是非とも「施工証明書」を積極的に活用し確実な接地抵抗測定及び自主点検の徹底により、不良工事の撲滅及び、工事品質の更なる向上を図って戴きますようお願い申し上げます。

また、組合の新規参入業務として、組合員の皆様に先日ご案内致しました電気工事士免状交付業務が、石川県からの委託業務として本年6月より開始しております。組合の存在意義を大きくアピールすることができると共に、組合員の皆様には利便性が高くなると思われまますので、是非、ご利用下さい。さらに今年度は、金沢本部新支部執行体制元年でありますので、さらなる組合の活性化にご協力をお願い致します。

最後になりましたが、御世話になります北陸電力株式会社様には今後共御指導、御鞭撻を御願い申し上げますと共に、本年度が我々の業界にとりまして飛躍の年度になりますよう皆様方の安全と益々のご繁栄ご活躍されますことをお祈り申し上げまして、二期目就任のご挨拶とさせていただきます。



常務理事（総務担当）

野澤 和 敏

盛夏の候、組合員の皆様には益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は組合運営にあたり、格別なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般の第72期通常総代会に於きまして、引き続き総務会計を担当させて頂くことになりました。微力ではありますが、組合の更なる発展のため、全力で取り組んでいく所存でございます。

今年も猛暑が予想され、電力不足が懸念される中、国内で唯一運転中の大飯原発の運転継続が容認されました。新基準に照らして安全性をしっかりと見極め、合格ラインに達した原発については速やかに稼働させ、国富の流出を減らしたいものです。組合では、今年度の重点目標の一つに正しい原子力知識の啓発と原子力発電への理解を掲げています。原子力発電の安全を再確認し、一日も早い志賀原発所の再稼働により、北陸電力株式会社様の経営理念である良品で安定した電力が供給されることを望むものです。

経済はアベノミクス効果で徐々に上向きになってきたとはいえ、我々業界では依然厳しい状況が続く中、安定した組合運営を図るためには、財政基盤の一層の強化を図らなければならないと考えています。総務会計担当として、組織の合理化、効率の良い運営と更なる経費の削減に努めて参ります。また、組合員の皆様と共に知恵を出し合い、安全と安心で地域社会に貢献する活力のある組合を目指していく所存でございます。これからの季節、炎天下での厳しい環境の中での作業が続きますが、基本ルールを遵守し、安全第一で暑い夏を乗り切りましょう。

最後になりましたが、組合員の皆様方の益々のご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げて新年度の挨拶とさせていただきます。



常務理事（配電担当）

今出 真 稔

昨年末、政権交代が起こり約半年、「アベノミクス」と呼ばれる経済政策が実行・具現化されつつある今日、我々建設関連業界も少しずつではありますが明るい光が見え始めている様に感じます。

しかし我々の願う志賀原子力発電所の再稼働はまだまだ先行きが不透明の状況にあり、CO₂問題や電力の安定供給を考える上においても一日でも早い稼働を期待するところです。

さて今期も配電関係を担当させて頂く事になりました。北陸電力株式会社様からのご指導は当然の事、組合員の皆様のお力をいただきながら共に考え、共に汗を流し、共に成長出来れば幸いに思っております。

今後の配電関係の工事量は高度経済成長時代に施設した配電設備が今後、大規模な更新時期を迎え、将来的に工事量が大きく増加する事が見込まれております。

そんな中、我々もこれに備えた施工体制の強化等の中・長期的にしっかりと考え推進していく必要があるのではないかと考えます。

その為には組合員は当然のこと、作業従事者一人一人の技能、能力の維持向上に向けた取組みを計画的に且つ能動的に実施していきたいと思えます。またメンタル面からも常に危険に対する感受性の高揚を図れるような取組も考えていきたいと思えます。

配電工事関係においてはやはり「安全」と「品質」の向上に向けての取り組みが全てであり組合として受注し発注する組織として主体性の強化とガバナンス能力も高めていきたいと思えます。

組合員各位のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



常務理事（厚生担当）

鳥 畑 弘

厚生委員会では、「福祉に関する事項」「共済会・互助会に関する事項」「労働保険に関する事項」「グループ共済制度運営に関する事項」「厚生年金基金及び国民年金基金に関する事項」等多くの事について取り組まなければなりません。また第三者賠償につきましては、平成24年度は13件発生しており、依然として誤結線による事故が多く見られます。作業完了後は今一度再確認をする事です。

さて今年度の私の目標として、些細な事でも全力を尽くして取り組みたいと思います。

人から頼まれごとをされた時の対応には、大きく分けて三つのタイプがあります。一つは依頼した側の期待どおりにやる人、期待以上に仕上げる人、期待に届かない人の三種です。仕事を頼まれた時、自分の直接の仕事ではないし、それなりに形をつければ文句はないだろうと考えて、適当に扱う人も中にはいます。しかし何かを頼まれた時こそ、実は真価が試されているのではないのでしょうか。

頼んだ側の視点に立てば想定を上回るような迅速な対応を示されれば、おどろきと共に好感度も高まります。それが周囲にも伝わり期待に応えた人の仕事の幅と信頼度は増して行くでしょう。

それらの能力や技術の問題とする見方もありますが、最も必要なことはお客様にいかに喜んでもらうかという姿勢の有無だと思います。たとえ小さな仕事でも依頼した人のために全力を尽くすことは、人の心に火をつけます、そこが重要なポイントです。

最後に組合員の皆様方、ご家族の皆様のご多幸を祈念致します。



常務理事（企画担当）

由 雄 一 彦

今年度の役員改選で常務理事の大役を仰せつかり、新たな思いと責任を痛感している次第です。

振り返ると早いもので、組合役員もかほく支部長4年、金沢副本部長9年と13年間に亘り、歴代の理事長始め役員の皆様方、又多くの組合員の方々に支えられ、何とか務める事が出来たと思っております。5月の総代会で新役員の承認を頂き、理事長より「企画・経営担当」を依頼されました。今迄とは違った職務で、諸先輩の指導を得ながら少しでも充実した組合をめざし、微力ながら全うする所存でございます。

さて組合を取り巻く環境ですが、近年は組合員の数も年々減少するような状況になっております。少子高齢化は今後ますます進み、国内の経済活動は縮小すると思われます。しかし、我々は世の中のライフラインを守るという大切な仕事に携わっております。人が生きている限り永遠に続きます。今後は、今までに諸先輩方が築き上げた当組合を組合員に大いに利用して頂けるよう企画・運営に力を注いで行きたいと思っております。また我々の組合の上部団体に「北陸電気工事連合会」が有りますが、組合間の交流は一部の部門間だけで、それぞれ県単位で運営されているのが現状です。今後は富山・福井の本部と意見交換会の機会を持ち、お互いに少しでも良いところを学び、組合運営に役立てればと思っております。

最後に、安全第一に務め、皆様方の益々のご繁栄を祈念すると共に、今まで同様のご支援ご協力をお願い申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。



常務理事（電力部長）

種 本 明 博

暑中お見舞い申し上げます。

原子力発電所再稼働が遅々として進まない今日この頃、まさに正論を得た記事を目にしました。

「再稼働 正論を訴えるは今」(JR東海会長 葛西敬之氏)

「エネルギー政策は長い時間をかけて形づくられてきた。エネルギーは国の経済の血液だ。不安定であったりコスト高であったり品質が悪かったりすると、国家の生命にかかわる。安定的で上質で低コストのエネルギーをいかに確保するかを考える中で、原子力発電所が推進されてきた。定見もなく、国際・国内世論に揺り動かされているのは大きな問題だ」

「再稼働に向けては、より専門的な知識を持つ人たち、責任を持つ人たちが一定の方向を見極めて、世論を引っ張らないといけない。正しい知識を発信することが必要であり、合理性のある議論には、感情的な反発にあっても、その反発は必ず消える。」

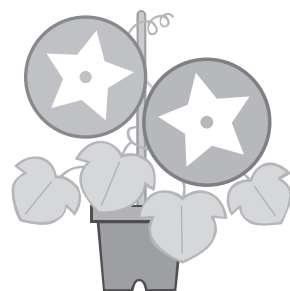
「電力会社は今回みな沈黙してしまった。地域独占の中で何十年も戦わず、平和な草食動物のようになってしまったのかもしれない。だが、このまま黙っていても事態は好転しない。電力業界も、理解を得られずともこれしかない主張すべきだ。」

「発送電分離は今やるべき議論ではない。集中治療室にいる人間に生活習慣の話をするのと同じで、問題が片付いた後の議論を先にやっている。ユニバーサルサービスがいるのかいないのか真正面からの議論となれば、いるとなるはずだ。それを維持するには地域独占を残し、総括原価方式にしないといけない。そもそも発送電分離や自由化によって安くなるという幻想は捨てるべきだ。新規参入者はコストパフォーマンスの良い都心に

しか入らない。だとしたらそれは勝手な金もうけ議論だ。」

県議会6月定例会において、アベノミクスで公共工事の人手が不足し賃金の上昇が見込まれるため労務単価を13%上げる方針が示されたが、羨ましい限りである。

当面は原子力発電所再稼働、発送電分離について戦う業界の一員として皆様方と共に正しい知識・情報を広く主張し続け、一日も早く工量単価値上げ改定に道筋を付けたいと思いますので共に頑張りましょう。



第72期 通常総代会

石川県電気工事工業組合の第72期通常総代会が平成25年5月22日（水）金沢市の石川県電気工事工業組合会館で開催され、

- 平成24年度事業報告並びに財務諸表承認の件
 - 組合定款一部改正の件
 - 「反社会的勢力排除規定」制定の件
 - 平成25年度事業計画案並びに予算案承認の件
 - 役員報酬改定の件
 - 組合加入金決定の件
 - 組合借入金残高最高限度額決定の件
 - 1組合員に対する貸付最高限度額決定の件
- などの議案が審議され、原案どおり承認された。

総代会には能登本部の澤野優氏を議長に選出し議案審議が行われた。

米沢理事長は次のように挨拶して出席した総代の理解と協力を求め、平成24年度の事業概要を説明した。

組合員の皆様には、日頃から当組合の事業推進にあたり、格別のご支援、ご協力をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の日本経済は、上半期は東日本大震災からの復興関連需要やエコカー補助金の復活などにより、緩やかな回復基調が見られましたが、その後は長引くデフレをはじめ急激な円高、さらには欧州金融不安、中国との国交問題による経済環境の悪化などにより、依然と厳しい状況が続いております。

一方、政治においては、年末に行われた衆議院議員総選挙において自民党が政権を奪還、新政権が誕生しました。念願した新政権のもと政権リセットにより産業の活性化をはじめ、景気浮揚などの失われた数年間の国益奪還に大きな期待を寄せているところであります。折からのアベノミクス、円安等に大きな期待を寄せているところであります。

我々電気工事業界は昨秋、四国・徳島市で「語ろう省エネ・環境!クリーンな電気工事業を四国から発信」をメインテーマに第29回電気工事業全国大会を開催しました。我々はいかにして社会のニーズに対応すべきか、広く社会に対しては安全・安心・環境などについて、地域社会に対してどのように貢献をすべきか、各界からの見識ある



ご提言もいただきながら意見交換、基調講演を通じ討議した結果、今後の電気工事業界の歩むべき道として、「電力会社、お客様に最善の方策を提案発信すること」、「地域のお客様の立場に立ち、さらにきめ細かい提案型技術営業を行うこと」、「その積み重ねにより安心してお任せいただける「町のドクター」を目指すこと」を、組織内にあっては「頑張る横に抜ける組合員を支援」、「誇りと強い使命感を持った強い組織を目指すこと」を大会の決議といたしました。

現下の課題はエネルギー戦略が国家的課題とされています。昨年5月には昭和45年以来、42年ぶりに国内の全原発が一時、停止しました。その後、7月には大飯原発が再稼働し原発ゼロという異常事態からなんとか抜け出すことが出来ましたが、依然として東日本大震災を機に原発の可否をめぐって世論は二分されています。資源に限りのある我が国が今日まで原発に依存してきた社会構造をいま一度、「冷静にみつめ、考えるべきとき」と考えます。

申し上げるまでもなく電力不足は国民生活にとどまらず産業界にも大きな影響を及ぼしています。安定した電力の供給は喫緊の社会的課題であり、安全・安心の確保を大前提に既存原発の一日も早い運転再開を望むものであります。

このように我々の業界を取り巻く環境は、依然としてきわめて厳しい状況にあることに変わりありませんが、昨年度の反省を踏まえ、組合員の皆様とともにさらに「考え行動する組合」を目指してまいりたいと考えます。引き続き、一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

平成24年度 事業概要

○組合員 新加入者4名、脱退者10名、
期末において455名。

○出資総額 191,100千円、加入積立金185,885
千円、合計376,985千円。

○電力受注工事 平成24年度配電工事発注工量
計画の101.1%、前年度対比で102.8%の竣工実
績となりました。工費は1,947.0百万円、副資材
費689.0百万円、工事費合計では2,636.0百万円
の竣工額。

○一般用電気工作物調査業務 竣工調査におい
て受託件数7,085件（計画対比87.9%）、受託手
数料19,687千円、系統連係調査において受託件
数73件（計画対比27.0%）、受託手数料291千円、
並びに定期調査において受託件数49,656件（計
画対比96.9%）、受託手数料42,826千円、調査業
務として62,888千円の実績となりました。

本部 名	受注実施件数			受託金額（千円）		
	竣工調査	系統連係	定期調査	竣工調査	系統連係	定期調査
金沢	4,514	46	31,984	12,662	188	28,139
加南	2,571	27	17,672	7,025	103	14,687
合計	7,085	73	49,656	19,687	291	42,826

○配電工事施工品質評価実績 （単位：件、%）

評 価		工 業 組 合		
評価分類	評 価 項 目	H23	H24	前年比
発注停止 措 置	発 注 停 止	1	0	0
	厳 重 注 意	1	0	0
事故発生	災 害 発 生	0	0	0
	停電・漏油	1	1	100
安全パト ロ ー ル	重大な指摘	3	2	66
	軽易な指摘	2	3	150
竣工検査	不 良 工 事	2	4	200
	注 意 工 事	4	2	50
苦 情	苦 情 発 生	0	1	－
合 計		14	13	92

評 価		北 陸 電 工 (株)		
評価分類	評 価 項 目	H23	H24	前年比
発注停止 措 置	発 注 停 止	0	0	0
	厳 重 注 意	0	0	0
事故発生	災 害 発 生	0	0	0
	停電・漏油	0	1	－
安全パト ロ ー ル	重大な指摘	0	1	－
	軽易な指摘	1	0	0
竣工検査	不 良 工 事	4	3	75
	注 意 工 事	2	4	200
苦 情	苦 情 発 生	0	2	－
合 計		7	11	157

○**自主安全管理活動** 工事に際しては、安全最優先で施工品質確保を図るべく自立的管理活動を展開し、配電工事・内線工事とも組合員各位の努力によりゼロ災を継続しました。

一方、施工品質面は、外線工事、引込線工事、内線計器工事で発注者から指摘が相次ぎ、内線工事も新增設工事竣工調査で多くの不良通知が発生しており、改善に向け全組合員による不断の意識改革が求められています。

外線工事は、電力施工品質評価制度で安全パトロール、竣工検査等で13件の指摘を受け、正規化指数（100万点当りの指摘件数）は前年度に引き続き北陸電工（株）、他県工組に遠く及ばず業界最下位に甘んじる結果となりました。

引込線工事は、工事一部未完了で竣工報告する事例が発生している他、自主安全パトロールで ①高所作業車設置・格納に関する不備 ②活線近接作業時の防具取付不備が見受けられました。

内線計器工事は、一次側、二次側の誤結線が相次ぎ、発注者並びにお客さまに多大なるご迷惑を掛けており、早急なる改善が求められています。

内線工事は、竣工調査で接地設備不良率が高止まりの状況にあり、加えて絶縁不良設備の増加が見られ、また、第三者賠償制度では誤結線による給付申請が多くを占める状況にあります。

○**保守管理業務** 業務受託契約件数は期首810件、期末においては775件となり、35件の減少となりました。（契約件数の内訳は官庁関係508件、民間267件であります。）

本業務はエンドユーザーとの信頼関係の中、メンテナンス分野を通して永続的な技術営業拡大につながるとの観点から、特に官公庁関係を重点的に陳情を重ねてまいりましたが、予算削減等が念頭にあるため、残念ながら一段と厳しい状況で推移したことをご報告するものであります。

○**教育・資格取得講習** 第一種電気工事士定期講習の実施については、今年で最後となる「独立行政法人製品評価技術基盤機構」のもとで実施され、金沢地区に3会場の開催で合計261名

の方が受講されました。

来年度からは、実施主体が5団体になることより、受講者の減少が懸念されるため、当組合では共同にて実施している「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録制度」を全組合員にお願いし、多くの方にご登録頂いたことをご報告致します。

また、高圧活線（近接）作業員更新講習、昇降柱訓練教育、及び内線工事技術講習会などが開催され多数の参加をみました。

○**電気使用安全月間** 平成24年度電気使用安全月間運動が8月に実施され、組合役員及び青年部を中心とした独居老人宅の電気設備点検16ヶ所（金沢市、珠洲市）、街路灯清掃点検奉仕作業165ヶ所（金沢市、白山市、かほく市）、エレキスクール50名参加（小松市）及び各地域でのイベントや祭りの協賛で街頭宣伝や移動サービス相談所の開設など、電気使用安全月間PRを積極的に展開して参りました。

○**広報活動** 組合「こうほう」誌を年3回発行し、組合員各位、及び防災協定を締結している全市・町に配布致しました。

また、テレビCMについては、昨年に引き続き「エコ関連はお任せ下さい!」、「石川電気安全サービスは石川県電気工事工業組合の調査部門です。」という二つのタイトルでテレビ金沢のフリースポット年間600回（Aタイム24本以上）で放映いたしております。是非ご視聴されますようお願い致します。

○**材料供給事業** 本年度611,865千円（副資材603,298千円、内線4,423千円、一般4,144千円）の販売促進を図りました。資材供給事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後も組合員の経営安定と省力化に資するとともに事業を推進して参ります。

○**事業資金の貸付** 諸般の金利水準等の情勢を考慮し、貸付金利率を前渡金3.5%で運用し、その他の貸付については4.0%で運用しました。年度中に総額166,200千円を貸付しました。また、設備近代化資金や各種制度融資についても組合で指導斡旋を致しました。

○**福利厚生** 年度中に組合員1名の方が他界されました。心から哀悼の意を表します。

また、例年実施しております健康診断も1,771名の方が受診されました。平成25年度も各本部で実施する予定でありますので、全員の受診をお勧め致します。

第三者賠償制度については、加入保険料18,226千円に対し、事故13件、補償費9,962千円の給付を受けました。事故の内訳としましては外線1件、引込線1件、内線11件があり、その内誤結線は5件ありました。プロの技術者集団として恥じないよう、工事に際しては細心の注意を払われるよう、各企業内の更なる技術教育の徹底をお願いするものであります。

○**全日電工連グループ共済制度** 現在加入組合員275社、加入員1,433名、428,200千円の契約をしております。年度中には、死亡8件、入院5件、合計13件、33,816千円の給付を受けました。不慮の備えのために多数の加入をお勧め致します。

○**北陸電力持株会** 昭和51年4月に発足以来、組合員各位のご理解のもとで平成25年3月末会員は78名、株式数497,581株を所有しております。

北陸電力との関係を一層密にし、協力体制を確立するために、また、株式の取得を容易にできることから資産形成にも役立っております。更に多くの組合員が加入されるようお願い申し上げます。

○**青年部** 今年の3月に創立30周年記念式典を行いました。「明日への一歩・・・未来への挑戦!」をスローガンに掲げ、金沢・能登・加南の三本部の青年部員一同が団結し、無事に成功裡に終了しました。30周年を節目により一層積極的に組合事業に参画し、組合の推進力となると共に、全日電工連全国青年部協議会や北陸電工連青年部連絡協議会、石川県中小企業青年中央会など、各関係団体とも連携を深め、更なる飛躍と発展を期待し、支援していく考えであります。

議案

平成24年度事業報告書

組合員事項

期首 461名 新加入者 4名 脱退者 10名 期末 455名

〔新加入者名〕

No.	事業所名	代表者名	所在地	本部	支部
840	辰巳電気	辰已知加幸	小松市若杉町二85番地	加南	小松
841	相倉電気商会	相倉志行	河北郡津幡町字渦端421番地7	金沢	河北
842	(株)北都鉄工	小池田康秀	金沢市長田本町チ10番地1	金沢	金石
843	(有)後山電機	後山潤一	金沢市問屋町1丁目76番地	金沢	金石

〔脱退者名〕

事業所名	代表者名	本部	支部
イズ電気工事(株)	高野高志	金沢	中央
昭和電設	藤田恵	金沢	金石
(有)小笹電機商会	小笹雄二	金沢	白山
屋島電機	屋島進	金沢	白山
吉川電気	吉川謙一	能登	七尾
中西電気商会	中西義男	能登	七尾
岩本電気	岩本一郎	能登	羽咋
永井電気	永井清嗣	能登	羽咋
(有)電興社	都築ナヲミ	加南	小松
永伸電気工事	松下博行	加南	小松

議案

組合定款一部改正の件

提案理由

1. 組合員減少に伴う総代の定数の変更。

新 条 文	旧 条 文																
(総代の定数) 第40条 総代の定数は、 <u>67</u> 人とする。	(総代の定数) 第40条 総代の定数は、 <u>69</u> 人とする。																
(別表) 総代の地域及び定数	(別表) 総代の地域及び定数																
<table><tr><th>地 域</th><th>定数</th></tr><tr><td>金沢市、白山市、かほく市、野々市市、河北郡</td><td><u>38</u>人</td></tr><tr><td>七尾市、羽咋市、輪島市、珠洲市、鹿島郡、羽咋郡、鳳珠郡</td><td><u>17</u>人</td></tr><tr><td>小松市、加賀市、能美市、能美郡</td><td>12人</td></tr></table>	地 域	定数	金沢市、白山市、かほく市、野々市市、河北郡	<u>38</u> 人	七尾市、羽咋市、輪島市、珠洲市、鹿島郡、羽咋郡、鳳珠郡	<u>17</u> 人	小松市、加賀市、能美市、能美郡	12人	<table><tr><th>地 域</th><th>定数</th></tr><tr><td>金沢市、白山市、かほく市、野々市市、河北郡</td><td><u>39</u>人</td></tr><tr><td>七尾市、羽咋市、輪島市、珠洲市、鹿島郡、羽咋郡、鳳珠郡</td><td><u>18</u>人</td></tr><tr><td>小松市、加賀市、能美市、能美郡</td><td>12人</td></tr></table>	地 域	定数	金沢市、白山市、かほく市、野々市市、河北郡	<u>39</u> 人	七尾市、羽咋市、輪島市、珠洲市、鹿島郡、羽咋郡、鳳珠郡	<u>18</u> 人	小松市、加賀市、能美市、能美郡	12人
地 域	定数																
金沢市、白山市、かほく市、野々市市、河北郡	<u>38</u> 人																
七尾市、羽咋市、輪島市、珠洲市、鹿島郡、羽咋郡、鳳珠郡	<u>17</u> 人																
小松市、加賀市、能美市、能美郡	12人																
地 域	定数																
金沢市、白山市、かほく市、野々市市、河北郡	<u>39</u> 人																
七尾市、羽咋市、輪島市、珠洲市、鹿島郡、羽咋郡、鳳珠郡	<u>18</u> 人																
小松市、加賀市、能美市、能美郡	12人																

議案

支部規約一部改正の件

提案理由

1. 金沢本部における支部活動の活性化を目指し組合員数の平準化を図る。

新 条 文	旧 条 文
(名称及び地区) 第2条 本組合に設置する支部は次のとおりとする。 (1) 金沢本部 7支部（兼六支部、犀川東支部、犀川西支部、 <u>西部支部</u> 、 <u>みなと支部</u> 、白山支部、河北支部） (2) 能登本部 4支部（七尾支部、羽咋支部、輪島支部、珠洲支部） (3) 加南本部 2支部（小松支部、大聖寺支部） 2. 支部に班を置くことができる。	(名称及び地区) 第2条 本組合に設置する支部は次のとおりとする。 (1) 金沢本部 7支部（ <u>中央支部</u> 、犀川東支部、犀川西支部、 <u>浅野川支部</u> 、 <u>金石支部</u> 、白山支部、河北支部） (2) 能登本部 4支部（七尾支部、羽咋支部、輪島支部、珠洲支部） (3) 加南本部 2支部（小松支部、大聖寺支部） 2. 支部に班を置くことができる。

議案

「反社会的勢力排除規程」制定の件

提案理由

1. 平成23年に全都道府県で暴力団排除条例が制定された。当組合において、同条例への適応を確認するため。

反社会的勢力排除規程

(目 的)

第1条 この規程は、「石川県暴力団排除条例」(平成23年8月1日施行)の基本理念に則り、組合組織から暴力団など反社会的勢力を排除し、社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程における用語の意義は、次のとおりとする。

- (1) 反社会的勢力とは、暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係者、総会屋、特殊知能暴力集団、その他これらに準ずる者をいう
- (2) 暴力団は暴対法第2条第2号に規定する暴力団員をいう
- (3) 暴力団員は暴対法第2条第6号に規定する暴力団員をいう

(反社会的勢力の排除)

- 第3条 新規組合加入申込があった場合、個人申込者または法人申込者の役員等が反社会的勢力もしくは反社会的勢力と密接な関係がある者と認められたときは、理事会において加入を拒否することができる。
2. 組合員及び組合員の役員、役員に準ずる者が反社会的勢力もしくは反社会的勢力と密接な関係がある者と認められたときは、除名することができる。この場合、本組合は、総代会の10日前までに、当該組合員に対しその旨を通知し、かつ、総代会において弁明する機会を与えるものとする。

(事業利用の制限)

- 第4条 組合員及び組合員の役員・関係者が反社会的勢力もしくは反社会的勢力と密接な関係がある者と認められたときは、当該組合員への通告なく、理事会の議決によって組合事業の利用の制限をすることができる。
- (1) 配電事業においては、施工者登録の取り消し、または、一定期間その登録を停止することができる
 - (2) 点検業務受託事業においては、点検業務認定の取り消し、または、一定期間その認定を停止することができる
 - (3) 共済事業、その他事業においては、一定期間その利用の停止をすることができる
一定期間とは、6ヶ月を超えない範囲で理事会において、その都度別途定める。

(損害賠償)

第5条 前条によって組合に損害が発生した場合は、当該組合員にその損害額を請求することができる。

(制定・改廃)

第6条 この規定の制定・改廃は、理事会の決議を経て行う。

附 則

1. 平成25年5月22日から施行する。

議案

役員任期満了による改選の件

当組合定款並びに選挙規程により、一部を除き次のとおり選出内定しております。

理事長		○ 米 沢 寛
理 事	(金 沢 本 部 長)	中 村 唯 夫
同	(能 登 本 部 長)	川 畠 克 文
同	(加 南 本 部 長)	川 腰 利 榮
同	(担当)	○ 日 向 捷 久
同	(担当)	○ 野 澤 和 敏
同	(担当)	○ 今 出 真 稔
同	(担当)	○ 鳥 畑 弘
同	(担当)	○ 由 雄 一 彦
同 (員外)	(電 力 部 長)	種 本 明 博
同	(金沢副本部長)	宮 下 誠 次
同	(兼 六 支 部 長)	吉 野 正 博
同	(犀川東支部長)	岩 田 時 夫
同	(犀川西支部長)	大 地 実
同	(みなと支部長)	忠 村 光 宏
同	(西 部 支 部 長)	上 村 和 弥
同	(白 山 支 部 長)	中 山 和 彦
同	(河 北 支 部 長)	勝 崎 悟
同	(七 尾 支 部 長)	澤 野 優
同	(羽 咋 支 部 長)	菊 田 三 雄
同	(輪 島 支 部 長)	稲 垣 健 英
同	(珠 洲 支 部 長)	細 越 勝
同	(小 松 支 部 長)	東 本 一 郎
同	(大聖寺支部長)	竹 内 和 良
同 (員外)	(安 全 部 長)	白 崎 茂 弘
監 事	(金 沢 本 部)	安 井 壽一郎
同	(能 登 本 部)	坂 室 正 昭
同	(加 南 本 部)	松 本 賢 一

○印の方は当組合選挙規程により、3月29日締切日までに立候補された候補者です。

議案

平成25年度事業計画

昨年の我が国経済は、長びくデフレや急激な円高、欧州金融不安、中国経済の減速などから厳しい状況下にあります。また、国内にあっては九州北部豪雨、北海道の暴風雪による鉄塔倒壊など、自然災害により日本経済にも大きな影響を及ぼしました。

時代と共に電力消費は増加の一途をたどりつつあるなか、発送電分離問題、小売りの全面自由化など、まだまだ論議すべき多くの課題があります。一方、お客様の省エネ・節電に対する意識が高まるなか、我々電気工事業に対するニーズは複雑かつ高度なものとなりつつあります。これまでも増して、高度化、多様化する技術に対し、それらに応えうる技術力の向上と取得に努めなければなりません。

こうした社会環境の中において、今年度より第一種電気工事士定期講習は、新制度へと変更され、経済産業大臣から指定を受けた複数機関が実施することになっています。県工組では、「一般財団法人電気工事技術講習センター」への登録・受講を積極的に進めたく、組合員の皆様にご協力をお願いいたします。

また、電気工事士免状交付事務については、平成25年4月16日一般競争入札が公告され、当組合が落札することができました。これまで受託の準備作業は、着々と進めて参りましたがようやく実現する運びとなりました。今後は、電気工事士を取得したすべての方が、組合に足を運ぶようになり、組合の存在意義を大きくアピールすることができると共に、組織率の向上が見込まれると思います。

アベノミクス効果が表れはじめたとはいえ相変わらず経済環境は厳しいものがあります。逆境の今こそ組合員一人ひとりの結束力、お客様や地域に密着した行動力が求められます。「頑張る組合員」の拡大は業界全体のレベルアップに繋がるものと信じています。折から多くの課題が山積しています。直ちにすべてを解決できるものではありませんが、一つひとつス ピード感を持って果敢に挑戦、飛躍をめざす年度にしたいと考えています。

引き続き、組合員の皆様の一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

重 点 目 標

1. 組合事業の立案及び推進

- (1) 電気工事技術講習センターへの登録促進
- (2) 電気工事士免状交付事務の受託
- (3) 青年部活動への支援

2. 自主安全管理活動推進によるゼロ災の継続

3. 施工品質向上対策の積極的推進

- (1) 企業統治（ガバナンス）強化による外線・引込線工事施工品質の向上
- (2) 施工者人材育成教育の充実と技能継承の強化
- (3) 外線・引込線工事の施工能力強化策の検討
- (4) 計器工事技能研修実施による不良工事の一掃
- (5) 不良通知先組合員への個別指導強化による内線工事施工品質の向上
- (6) 工事技術の向上により第三者損害賠償事故の撲滅

4. 新技術の習得・営業窓口分野の拡大

- (1) 創エネ・省エネ電化機器（200V 機器）の取付促進
- (2) 電気自動車用充電設備及びLED照明機器の取付推進
- (3) スマートグリット及び家庭用エネルギー管理システム（HEMS）の推進
- (4) 内線工事技能競技大会開催に向けた準備・検討

5. 保守管理業務の促進

- (1) 確実な定期点検の実施
- (2) 官公庁への強力な契約推進

6. 組合運営の活性化・労働環境の改善

- (1) 員外施工者への組合加入の促進
- (2) 環境に対する組合としての取組

7. 広報活動による組合員意識の啓発、地域へのPR

- (1) 組合「こうほう」誌の発行
- (2) 地域社会へ向けた組合の広報活動の促進

8. 正しい原子力知識の啓発と原子力発電への理解

- (1) 「北陸地区電気エネルギーを考える会」の支援
- (2) 電力会社並びに関係官公庁諸団体との連係、一層の緊密化

中西さん、米澤さん、砂山さんに知事賞 第51回 優良従業員表彰式

83名を表彰

恒例の優良従業員表彰式が5月22日(水)、総代会に先立って金沢市の石川県電気工事工業組合会館で行われた。

表彰式は今年で51回目。表彰式には谷本県知事、中村県中小企業団体中央会専務理事、村上県危機管理監室消防保安課長、石黒北陸電力石川支店執行役員石川支店長ら来賓が出席、米沢理事長は「電気工事は常に危険と隣り合わせ。受賞者の皆さんはその中で、長年安全で品質の良い仕事を成し遂げられ、組合、企業の発展に尽力された。今日、皆さんに賞状をお渡しできるのは、私にとってこの上ない喜び」と式辞を述べた。

谷本県知事、中村専務理事、米沢理事長から受賞者に表彰状、記念品が贈られ、労をねぎらった。受賞者を代表して砂山 信男（南北橋電気工事）が力強くお礼の言葉を述べた。

表彰を受けたのは次のみなさん。

(敬称略、カッコ内は勤務先)



石川県知事表彰（勤続30年表彰） を受賞して



(有)北橋電気工事
砂 山 信 男

この度、石川県知事表彰を賜り厚く御礼を申し

上げます。

思えば高校卒業後、最初の3年間は現場代理の仕事に携わりましたが、職人の道を選び早30年が過ぎました。

振り返ってみますと色々な事が思い出されます。楽しかった事や苦しかった事、同じ仕事仲間との出会いや別れ等、その中で色々な事を経験し、現在の私が在ると思っております。

今では、作業工法も大きく変わり、覚える事が多くなって行きますが、これからも、今まで支えてくれた家族、共に働いて来た同僚達と頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともご指導の程お願い申し上げます。

石川県中小企業団体中央会会長表彰 （勤続30年表彰）を受賞して



米沢電気工事(株)
山 越 和 明

この度、石川県中小企業団体中央会会長表彰勤

続30年表彰を賜り厚く御礼を申し上げます。

20歳のときに入社し、右も左もわからないまま現場へ入り、諸先輩達のご指導のおかげで、今では何となく人並みに仕事をこなせるようになり、気が付けば早30年が過ぎていました。

バブル期の繁忙期、バブル崩壊後の厳しい時代を身をもって体験し、何とかやってこられたのも先輩・同僚・後輩のおかげと感謝しております。

現在、電気は最も重要なライフラインであり、環境問題が取りざたされる近年では、省エネや再生可能エネルギーをはじめとする新技術が次々と登場します。今後も現状に甘んずることなく新しい技術の習得に励み、後輩に指導するとともに、施工品質の更なる向上、安全管理の更なる充実を図り、微力ではありますが業界のため、社会のために、より一層頑張っていく所存ですので、今後ともご指導、ご鞭撻いただけますようお願い申し上げます。



〈石川県知事賞受賞のみなさん〉

写真：後列左より、米澤 猛、砂山 信男、中西 正
前列左より、谷本県知事、米沢理事長

◆石川県知事賞

□勤続30年表彰（3名）

○金沢本部（2名）

中 西 正（米沢電気工事㈱）
米 澤 猛（野沢電気工事㈱）

○能登本部（1名）

砂 山 信 男（㈲北橋電気工事）

◆石川県中小企業団体中央会会長賞

□勤続30年表彰（2名）

○金沢本部（1名）

山 越 和 明（米沢電気工事㈱）

○能登本部（1名）

土 上 剛（坂室電機㈱）

◆石川県電気工事工業組合理事長賞

□勤続20年表彰（9名）

○金沢本部（3名）

木 村 啓 介（有木村電気商会）
寺 本 浩 和（第一電機工業(株)）
津 田 充 裕（第一電機工業(株)）

○能登本部（3名）

坂 本 伸 章（坂室電機(株)）
青 崎 清 勝（株高田電機商会）
佐 田 暢 人（浅倉電気商会）

○加南本部（3名）

山 崎 和 美（秋田電気工事(株)）
藤 島 小百合（秋田電気工事(株)）
安 田 修（竹内電気工事(株)）

□勤続15年表彰（44名）

○金沢本部（31名）

土 生 晃 弘（米沢電気工事(株)）
馳 川 卓（米沢電気工事(株)）
飯 島 忠 史（米沢電気工事(株)）
坂 井 敏 浩（米沢電気工事(株)）
渡 辺 律 子（米沢電気工事(株)）
松 岡 淳 平（米沢電気工事(株)）
井 守 勝（米沢電気工事(株)）
池 田 和 稔（米沢電気工事(株)）
木 田 真 吾（米沢電気工事(株)）
白 田 武 司（米沢電気工事(株)）
田 村 由香利（米沢電気工事(株)）
川 村 英 司（双葉電建(株)）
加 藤 洋 剛（宮島電興(株)）
加 藤 亘 康（株大地電業所）
三 島 哲 朗（株大地電業所）
星 野 重 行（株柚木商事）
柚 木 智恵子（株柚木商事）
橋 村 潔（シグマ電機(株)）

宮 下 久 夫（北都電設工業(株)）
福 田 大 輔（北都電設工業(株)）
山 上 行 之（北都電設工業(株)）
加 納 康 弘（株明生電気商会）
中 野 亜 紀（株明生電気商会）
大 家 正 文（株オオイエ電機）
浜 本 藩（株アルファ電装）
木 竹 啓 仁（第一電機工業(株)）
今 井 秀 明（第一電機工業(株)）
鷹 合 哲 也（第一電機工業(株)）
本 田 誠（第一電機工業(株)）
筆 崎 裕太郎（株テイク）
北 市 敦 士（ツボ電気工事(株)）

○能登本部（8名）

三ツ橋 弘 幸（有中村電気商会）
上河原 広（鳥畑電気工事(株)）
的 場 俊 之（坂室電機(株)）
田 中 隆 之（有漆原電気商会）
山 本 浩 一（藤井電気工事(株)）
山 口 幹 男（稲垣電機(株)）
関 山 博 明（稲垣電機(株)）
山 本 政 明（稲垣電機(株)）

○加南本部（5名）

荒 井 洋 介（中央電気工業所）
川 腰 道 子（有川腰電気商会）
中 浩 之（秋田電気工事(株)）
森 雅 彦（有川向電機商会）
芋 野 耕 司（株北陸エレテック）

□勤続10年表彰（25名）

○金沢本部（18名）

村 本 佳 隆（野沢電気工事(株)）
松 田 敏 照（米沢電気工事(株)）
山 野 隆 幸（米沢電気工事(株)）
鈴 木 啓 太（米沢電気工事(株)）
曾 山 浩一郎（米沢電気工事(株)）

小 杉 泰 喜 (米沢電気工事(株))
 宗 形 正 俊 (米沢電気工事(株))
 玉 津 幸 典 (東洋電設(株))
 卷 田 充 洋 (株ツーテック)
 廣 村 繁 (株ツーテック)
 崎 出 悠 司 (株柚木商事)
 松 本 美 晴 (株つなごう電気)
 北 村 要 (株大地電業所)
 徳 木 健 二 (宮島電興(株))
 荒 瀬 雅 之 (第一電機工業(株))
 宮 嶋 正 樹 (株テイク)
 佐 藤 茂 一 (株テイク)
 新 本 弘 文 (石川県電気工事工業組合)

○能登本部 (2名)

北 口 伸 吾 (末吉電業(株))
 田 島 信 昭 (藤井電気工事(株))

○加南本部 (5名)

川 上 良 三 (株今出電気商会)
 山 口 朋 範 (松本電機(株))
 前 田 拓 也 (山口電設(株))
 松 村 翔 太 (山口電設(株))
 森 澤 嘉 博 (株北陸エレテック)

	金沢	能登	加南	計
知 事 賞 30 年	2	1	0	3
中央会長賞 30 年	1	1	0	2
理 事 長 賞 20 年	3	3	3	9
同 15 年	31	8	5	44
同 10 年	18	2	5	25
計	55	15	13	83

3本部、相次いで全体会議を開催

金沢・能登・加南の3本部は、それぞれ全体会議を開き、平成24年度の活動報告及び決意を新たにして厳しい情勢下の平成25年度の組合運営・事業経営に対する重点目標を採択した。

金 沢 本 部

5月8日(火) ホテル日航金沢で
全体会議開催



表彰状贈呈

〔オール電化及び省エネ普及活動表彰〕

(敬称略)

・最優秀賞(理事長賞)

大 竹 電 機 (株) 大竹 成和(白山支部)

・優秀賞(金沢本部長賞)

オール電化部門

山 田 家 電 (株) 山田 博彦(河北支部)

(株)鳴和電気商会 宮下 誠次(浅野川支部)

省エネ部門

米沢電気工事(株) 米沢 寛(犀川西支部)

第一電機工業(株) 瀬戸 和夫(犀川西支部)

・奨励賞(環境部長賞)

オール電化部門

(有)エスティ電気 多谷 良洋(白山支部)

上 村 電 建 (株) 上村 和弥(金石支部)

(有)メイリョウ商事 山田 紘行(河北支部)

省エネ部門

(株) 當 刻 輻 日向 捷久(犀川西支部)

(株)忠村電業社 忠村 光宏(金石支部)

(株)明生電気商会 中村 唯夫(金石支部)

・努力賞

勝崎電気工業(株)

代表取締役 勝崎 悟(河北支部)

三和電設(株)

代表取締役 和田 清児(犀川西支部)

1. 基本方針

北陸電力株式会社様には、志賀原発が停止している厳しい中、昨年並みの工量提示を戴き、これに対し我々にとっては、大変ありがたく確実な仕事をする事により、これにお応えてしていく必要があります。また、原発の安全性とその効用を広くアピールし、志賀原発の一日も早い再稼働により電力の安定供給を望みます。

昨年末には、景気対策優先の新内閣が誕生し、2015年には北陸新幹線開業に向けて景気回復に弾みがつけばと思います。本年度は、金沢本部新支部執行体制元年でもあり、東日本大震災以降の節電・省エネ意識の高まりの中で注目されている太陽光発電等の再生可能エネルギー、LED、電気自動車(EV)充電設備、スマートハウス等の新技術は、我々業界にとって大きな追い風となっています。このチャンスを捉え、今年度は次に掲げる重要課題に積極的に取り組んでまいります。重点施策を推進するには、全組合員の積極的な参加が必須であります。組織一丸となって、本年度もゼロ災害、ゼロ損害の達成を基盤に活発な活動を展開いたしますので、一層の御協力をお願い致します。

2. 重点目標

(1) 経営基盤の安定化

- ・ 省エネ電化など時代の要請に即応できる技術力の向上と人材の育成
- ・ 提案型技術営業の新展開により、お客様に感動を提供する技術集団をめざす
- ・ 電気工事組合未加入業者対策

(2) 電気工事の施工品質の向上

- ・ 不良通知先組合員への個別指導強化による内線工事施工品質の向上（接地不良、絶縁不良工事の撲滅）、計器工事技能研修実施による不良工事の一掃
- ・ 工事技術の向上により第三者損害賠償事故の撲滅
- ・ 共同保守管理業務における点検調査の完全励行

(3) 配電工事施工体制の強化

- ・ 企業統治（ガバナンス）強化による外線・引込線の工事技術の向上
- ・ 自主検査の徹底により不良工事の撲滅、人材育成教育の充実と技能継承の強化

(4) 労働災害の防止

- ・ 自主安全管理活動推進によるゼロ災害の継続
- ・ 不安全行動の排除で「ヒヤリハット」ゼロ

の実現

- ・ 事業主による作業現場パトロールでの適切な指導、災害速報の即時周知
- ・ 脚立転落事故（天板立乗禁止）の撲滅、「天板立乗禁止シール」貼付の徹底、積荷固定の徹底、昇柱訓練の実施

(5) 営業分野拡大による需要開拓

- ・ 「製・販・工懇談会」の継続実施
- ・ 北陸電力㈱計器取次受託業務の周知浸透
- ・ 保守センター業務処理の迅速な対応とフォロー

(6) 省エネルギー機器の推奨、地球環境保全の意識高揚

- ・ 環境関連の提案型技術営業の推進
- ・ エコキュート等200V機器の販売取付け促進と200V配線の普及
- ・ 電気自動車（EV）用の充電コンセント設置工事の普及
- ・ ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）の推進

(7) 地域社会への貢献

- ・ 電気使用安全運動に於ける一般需要家に対する効果的なPR活動
- ・ 防災復旧訓練の実施



能登本部

4月22日(月) 和倉温泉「あえの風」で開催



組合員として20年間（平成4年4月1日～平成5年3月31日の間に組合加入）組合に貢献された方6名に感謝状贈呈

(敬称略)

高橋電機商会	高橋裕之
聖香電気商会	仁八重勇
大塚電気工事	大塚伸廣
(有)盛本電気工事	盛本健
北森電気工事	北森満
電化ショップモトヤマ	本山栄次

表彰状贈呈

需要開発最優秀賞表彰（エコキュート等200V電化機器の販売促進貢献）（敬称略）

・最優秀賞（理事長表彰）

昇陽電機(株) 巻亜洲夫

◆基本目標

安全衛生 「自主安全活動を推進し、安全優先の定着と「ゼロ災」の継続」

施工品質 「自立的管理活動を展開し、施工意識の改革と品質優先文化の定着」

◆重点目標

1. 組合運営の充実・職場の活性化

- (1) 人材の育成と高齢化対策の実施

- (2) 組合互助会・第三者損害賠償制度などの撲滅
- (3) 定期健康診断の実施
- (4) 青年部活動の育成と支援

2. 安全意識の高揚・労働災害及び公衆災害の撲滅

- (1) 職場作業環境に的確な自主安全管理活動の実施
- (2) 事業所訪問及び現場パトロールの実施
- (3) 労働災害及び交通事故防止の対策強化

3. 配電工事技術の向上と不良工事の撲滅

- (1) 配電工事新技術・工法及び新作業手順の的確な対応
- (2) 配電請負工事の施工者評価制度の管理徹底
- (3) 自主検査・後見点検の徹底によるヒューマンエラーの撲滅
- (4) 自主・交差パトロール時での的確な助言と指導事項等の徹底

4. 電気工事新技術の取得・経営意識の高揚

- (1) 各種資格取得等の支援
- (2) 第二種電気工事士・第一種電気工事士の育成
- (3) 施工証明書の活用と提案型技術営業への構築
- (4) 施工品質向上に向けた取り組みと接地不良工事の撲滅

5. 電気設備保守とPRの推進

- (1) 保守管理業務の拡大と点検業務の完全実施
- (2) オール電化機器の促進販売
- (3) 「お客さまサービス店」（通称eドクター）加盟及び協力
- (4) 電気使用安全月間における電気設備無料相談所等の設置

6. 広報活動による組合意識の啓蒙

- (1) 「工組能登」の発行及び組合のPR
- (2) 組合活性化及び電気使用安全月間のPR
- (3) エネルギーを取り巻く環境への理解強化

目指そう!! 「ゼロ災の継続と良質な施工」

加南本部

5月9日(木) 小松市栗津温泉「のとや」で開催



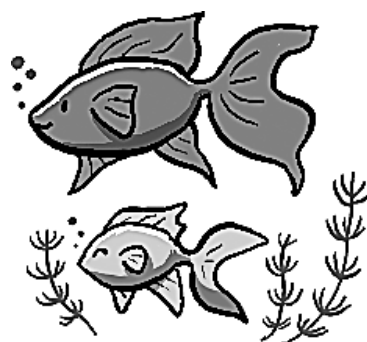
5月9日 小松市栗津温泉「のとや」において、米沢理事長、種本電力部長、事務局長ご出席の下、組合員64名が出席して開催され、平成24年度の活動報告並びに活動費決算報告、平成25年度の新役員を決め、活動計画並びに活動費予算案が承認されました。

平成25年度重点目標

1. 安全管理活動の徹底による災害撲滅
2. 配電工事の施工品質向上と安全作業の完全実施
3. 内線工事の後見点検の完全実施による不良工事の撲滅（特に計器装置工事と接地工事）
4. 災害時の迅速な対応と体制の強化
5. 経営力の強化と各種講習会の積極的な開催と参加
6. 第一種、第二種電気工事士試験準備講習会の実施と資格取得
7. エコキュート・IHCH・ヒートポンプ式温水床暖房等の省エネ電化機器の拡販
8. 点検業務受託事業の契約拡大と点検の完全実施
9. 環境関連の提案型技術営業の推進
10. 福利厚生諸制度研修会の開催
11. 分離発注の拡大と施工品質の向上
12. 地域行事への積極的参加と地域情報の収集

【全体会議記念講演】

全体会議の後、記念講演として、『「発送電分離」とその問題点について』と題し北陸電力株式会社小松支社長 大西賢治様のご講演をいただきました。



平成25年度 電気保安優良電気工事業者

石川県中小企業団体中央会会長表彰

□桜井電気工事(株)



代表取締役
桜井英樹

桜井英樹氏は、昭和59年から現在まで総代として、当組合監事及び能登本部の羽咋支部長・外線部長等を歴任し、旺盛な熱意と卓越した指導力で、組合の育成と発展に尽力している。

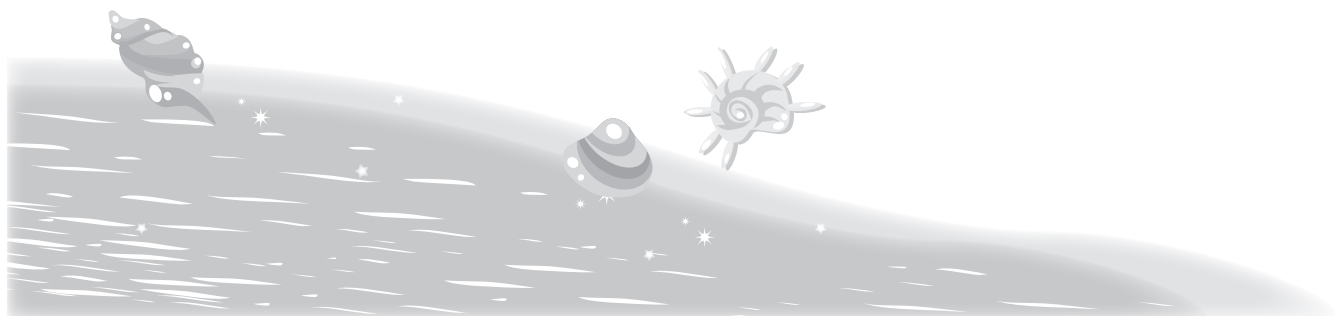
特に、能登本部外線部長としての自覚から当該組合員の現場並びに事業所への安全パトロールを確実に実施して、配電工事新技術・工法及び新作業手順等の的確な対応と作業安全は勿論、災害事

故防止を呼掛けて安全意識の高揚にも努めてきた。

他にも、各種行事の企画開催の遂行を確実に実施する等で、真摯に業務遂行を行っている。

業界関連の七尾内線工事研究会及び石川県電気安全協力会七尾地区本部でも、幹事及び委員・理事等の要職を歴任して、関連団体活動事業にも積極的に指導力を発揮されている。

又、地域社会に於いても、永年志賀町商工会理事及び志賀町商工協同組合副理事長・羽咋野球北支部の副支部長等の要職を歴任して、地域社会活動にも真摯に取り組んでいる。



電気使用安全月間行事

◇金沢本部

「百万石通り街路灯清掃活動」

百万石通り街路灯清掃を去る5月25日に金沢市役所、しいのき迎賓館前で行いました。金沢本部青年部の恒例の行事として、18回を重ねました。今年は残念ながら、山野金沢市長は来られませんが、濱田金沢市副市長に出動式のご臨席を賜りました。

大地青年部長の「街路灯清掃活動も18回目という長い歴史。これが続けることができたのも皆さんののおかげです。おもてなしの心で作業に励みたい」との挨拶の後、濱田金沢市副市長、宮崎相談

役から激励を戴いた後、部員22名8班に分かれ、約1時間奉仕作業を行いました。道路脇には煙草の吸殻などのゴミが落ちており、それも拾いながらの活動となりました。

〈平成25年度 今後の行事予定〉

7月19日 河北支部：河北郡津幡町住吉公園街路灯清掃

8月 白山支部：白山市内で活動予定

8月 安全部：工事現場パトロールによる指導

8月 青年部：金沢市内で街路灯清掃



◇能登本部

〈今後の行事予定〉

- 一人暮らし高齢老人宅無料配線工事のボランティア活動（能登青年部）
日時：平成25年8月9日（金）
9：00～14：00
場所：羽咋市役所管内
- サービス相談所の開設（定置）
日時：平成25年8月1日（木）～8月31日（土）
9：00～16：00
場所：当組合能登本部事務所
「平日のみ開催／14日（水）～16日（金）は盆休、9日（金）は移動相談所開設につき開催しない」
- サービス相談所の開設（移動）
日時：平成25年8月9日（金）
9：00～14：00
場所：羽咋市役所前広場 「羽咋市旭町ア200」
- 新聞広告（北國、北陸中日、読売／折り込み広告）
日時：平成25年8月9日（金）
内容：「サービス相談所の開設（移動）」の案内、電気使用安全月間のPR等（地元組合員名を掲載）
対象地域：羽咋市役所管内
- キャラバン隊による巡回PR
日時：平成25年8月9日（金）
9：30～
場所：羽咋市役所管内（公民館及び保育園等公共施設）
内容：電気使用安全月間のPR等
- 工事現場等パトロールによる指導（内線安全部会／各支部）
日時：平成25年8月1日（木）～8月31日（土）
9：30～
場所：当組合能登本部組合員の作業現場等
「担当者一任／盆休〔14日（水）～16日（金）〕以外の平日」

◇加南本部

〈今後の行事予定〉

- | | |
|---------|--|
| 7月1日 | 組合員に月間運動のポスターの配布、（組合員の店頭に掲示）、併せて昨年度実施した電気使用安全ポスターコンクールで最優秀賞になった作品を配布 |
| 7月上旬 | 組合会館にエコペン一家の大型看板を設置 |
| 7月上旬～中旬 | 管内3市1町に電気用安全月間の趣旨説明と上記ポスターの配布 |
| 8月3日（土） | 準備月間に、白山登山で電気使用安全と節電・省エネ活動のPR |
| 8月3日（土） | 「エレキスクールin 小松市」（小松市内児童50名）児童への電気使用安全の周知 |
| 8月上旬 | 文化財等の電気設備点検 |
| 8月中 | 車両による巡回PR、チラシ・リーフレットの配布 |
| 8月中 | サービス相談所の開設（組合会館内） |
| 8月中 | 「電気使用安全児童ポスターコンクール」管内児童から月間をPRするポスターの作品募集 |
| 8月中 | 現場安全パトロールの実施による安全点検・電気災害防止PR |
| 8月中 | 電気工事施工研修会 |

◆◆◆◆各本部だより◆◆◆◆

金 沢 本 部

- 1月11日 技術部会
労働保険説明会
- 1月16日 青年部役員会
・経営講習会について
・その他
- 1月17日 外線施工者会議
- 1月24日 全体会議



本部役員会

1. 全体会議について
2. 通知業者特別教育研修会について
3. 各支部・各部会からの報告
4. その他
 - ・選挙管理委員について
 - ・組合員の動静

労働保険説明会

- 1月29日 通知業者特別教育研修会
- 2月5日 内線改修連絡会
- 2月6日 青年部役員会
・総会について
・経営講習会について
・他
- 内工研幹事会
- 2月7日 厚生部会
安全パトロール

2月15日 IH料理教室



2月16日 青年部経営講習会



2月18日 選挙管理委員会

2月19日 内工研大研修会（津幡）

2月21日 内工研大研修会（白山）
IH料理教室

2月25日 安全協力会金沢委員会

2月26日 内工研大研修会（金沢）



2月28日 本部役員会

1. 発送電離分について（北陸電力(株) 石川支店様よりご教示）
2. 役員選挙について
3. 内線工事特別安全パトロールについて
4. (県) 電設委員会報告 2/6
5. 各支部・各部会からの報告
6. その他

安全協力会金沢理事会

3月5日 配電合同安全パトロール

3月6日 広報部勉強会



3月7日 外線部会

青年部役員会
・総会について
・他

3月11日 配電施工者会議

3月18日 内線工事特別安全パトロール

3月19日 経営部会

3月22日 安全部会

金沢安全協力会委員会

3月26日 金沢安全協力会理事会

3月29日 本部役員会

1. 役員選挙について
2. 全体会議について
3. (県) 総務委員会報告
4. 技術部 第二種電気工事士筆記試験講習会について
5. 各支部・各部会からの報告
6. その他

4月1日 労働保険年度更新手続き（4月19日

まで）

4月4日 配電事業主会議

4月6日 青年部総会



4月11日 電気工事士筆記試験準備会

4月15日 引込部会

4月16日 環境部会

4月22日 金沢本部役員会

1. 全体会議について
2. その他

5月7日 安全協力会委員会

5月8日 金沢本部全体会議

金沢本部役員会

1. 全体会議について
2. 技術部 計測器照合試験について
3. 厚生部 バスツアーについて
4. その他
5. 各支部・各部会からの報告

5月10日 青年部役員会

5月11・12日

第二種電気工事士（筆記）講習会



5月16日 環境部会

5月18・19日

第二種電気工事士（筆記）講習会

5月21日 青年部市長表敬訪問

5月25・26日

第二種電気工事士（筆記）講習会

5月25日 百万石通街路灯清掃

5月27日 金沢内工研幹事会

5月29日 金沢内工研委員会

5月30日 計器工事教育研修会（白山）

5月31日 電設工業展見学会



6月3日 安全協力会委員会

6月4日 本部役員会

1. 関係団体役員選出について
2. 新加入者について
3. 環境部 平成25年度表彰制度について
4. 竣工調査の接地工事に於ける不良通知について
5. 組合安全衛生大会について
6. 認定電気工事従事者認定講習について
7. その他
8. 各支部・各部会からの報告

6月6日 広報部会

6月7日 安全協力会研修会

6月8日 青年部技術講習会、青年部員交流会



6月10～13日

計測器照合試験



6月10日 青年部役員会

計器工事教育 兼六支部

6月11日 計器工事教育 犀川東支部

6月13日 環境部会

6月14日 計器工事教育 犀川西支部

6月17日 計器工事教育 西部支部

6月18日 計器工事教育 みなと支部

6月20日 計器工事教育 河北支部

6月26～28日

配電業者新入社員教育

能登本部

1月7日～2月1日

「計測器等の照合試験」／「絶縁用防
保護具耐電圧試験」 53社／153台

1月15日 配電作業手順書改定説明会

5社／11名

高压発電機車操作エラー体験教育

4社／14名

1月17日 配電課長会議（於：県本部）

配電課長

1月18日 引込線工事施工者会議

1）平成24年度引込線工事の現状

2）引込線工事における留意点と問題
点 他

1月25日 選挙管理委員会（於：県本部）

委員 他

1）総代選出の選挙等について 他

1月29日 常務会（於：金沢） 本部長 他

1月30日 安全管理指導員研修会（於：氷見）

安全管理指導員

1月31日 第2回全体会議（新年会）（於：和倉
温泉／加賀屋） 55名

1）平成24年度 上期・第3／四半期
事業報告について

2）平成24年度 第4／四半期事業運
営諸般について 他



電気エネルギーを考える会 研修会

（於：和倉温泉／加賀屋） 59名

講師：北陸電力(株)七尾支社

支社長 藤田 徹 氏

営業部 配電課長

西村 透 氏

電力部 変電保守課長

櫻井 一男 氏

1）北陸電力(株)の再生エネルギー発電
所の紹介と取組み状況について

2）志賀原子力発電所の現況について
他

2月5日 (株)泉精器製作所製圧縮工具定期点検
（於：輪島・珠洲） 配電工事施工者

2月6日 電設委員会（於：県本部） 委員 他
(株)泉精器製作所製圧縮工具定期点検
（於：七尾・羽咋） 配電工事施工者

2月8日 七尾木建安全推進協議会 総会（於：
社）七尾労働基準協会）内線安全部長

2月13日 七尾内線工事研究会 研修会（七尾会
場） 53名

2月14日 七尾内線工事研究会 研修会（穴水会
場） 24名

環境委員会（於：県本部） 委員 他

2月15～21日

絶縁用防保護具耐電圧試験

配電工事施工者

2月20日 安全協力会七尾地区本部 各活動部と
の合同パトロール 委員 他

2月22日 配電工事6KVケーブル工事基本教育
（於：金沢） 6名

2月25日 北陸電力(株)配電工事社給品臨時棚卸

2月28日 安全協力会七尾地区本部 推進委員会
（於：電力七尾） 推進委員 他

3月2日 青年部 創立30周年記念式典（於：金沢）
本部長 他

3月5日 配電工事特別安全パトロール（各本部
間の交叉パトロール） 委員 他

外線工事 能登／金沢本部委員

金沢／加南本部委員

加南／能登本部委員

引込線工事 能登／金沢本部委員

金沢／加南本部委員

加南／能登本部委員

3月7日 労働保険年度更新説明会（於：金沢）
事務担当者

3月14日 支部長会議 役員（新総代）会議
1）役員改選に伴う組織編制について
2）平成24年度 第4／四半期事業報告及び予定等について
3）平成25年度 全体会議（定時総会）開催日程等について 他
企画広報部会議
1）「工組能登」第69号〔総会特集号〕の発刊について
2）「工組能登」第69号〔総会特集号〕の原稿募集について 他
配電工事施工者会議
1）配電工事事業主会議企画開催の対応について
2）優良班長表彰者選定について 他

3月15日 総務委員会（於：県本部） 委員 他

3月16日 技術経営部会議
1）平成24年度 第二種及び第一種電気工事士受験準備講習会の反省について
2）平成25年度 第二種及び第一種電気工事士受験準備講習会開催企画について

3月18日 内線工事特別安全パトロール（各本部間の交叉パトロール） 委員 他
能登／加南本部委員
金沢／能登本部委員
加南／金沢本部委員

3月25日 優良電気工事業者表彰式（於：富山）
表彰受賞者

4月1～10日
労働保険年度更新業務 71社

4月2日 新支部長会議
1）平成25年度 全体会議（定時総会）議案書作成について 他
新規活線作業認定教育（於：県本部）
配電工事施工者

4月4日 配電工事事業主会議（於：金沢）

配電工事施工者 他

4月5日 事業活動審査会
1）平成24年度 事業活動審査について 他
能登青年部総会（於：和倉温泉／寿苑）
本部長 他

4月8日 北陸電気工事組合連合会 厚生委員会（於：福井） 委員

4月12日 支部長会議／役員（新旧総代）会議
1）平成25年度 全体会議（定時総会）議案審議について
2）平成25年度 全体会議の役割分担について 他

4月17日 外線工事施工者 班長会議
1）施工品質状況について
2）電柱の出・入庫について 他
監事会（於：県本部） 監事

4月19～26日
間接活線工具・電線離隔器耐電圧試験
外線工事施工者

4月22日 全体会議（定時総会）（於：和倉温泉／あえの風） 57名
1）平成24年度事業報告
2）役員任期満了による改選の件
3）平成25年度事業計画（案）承認の件



4月23日 配電課長会議（於：県本部）
配電課長

4月24日 常務会（於：県本部） 本部長 他
電柱元位置立替工法見学会及び意見交換会（於：富山）
外線工事施工者班長 他

4月26日 配電・安全部会議

1) 引込線工事の施工不完全対応について 他

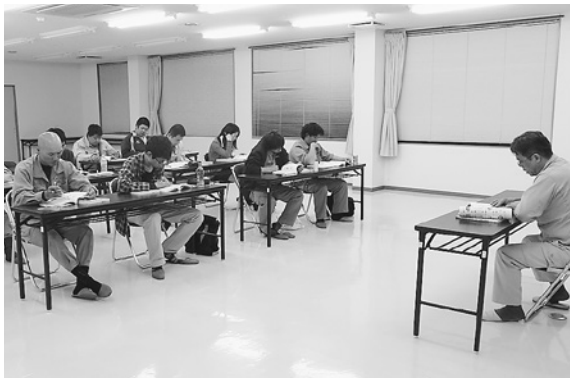
5月1日 電設委員会（於：県本部） 委員 他
事務局会議（於：県本部）事務局 他

5月9日 北陸電気工事組合連合会 監事会（於：富山） 監事

5月10日 常務会／新旧役員（理事）会（於：金沢） 本部長 他

5月13～31日

第二種電気工事士（筆記）受験準備講習会 11名



5月17～24日

高所作業車（バケットライナー、第3ブーム）の耐電圧試験 14社32台

5月22日 優良従業員表彰式／総代会（於：県本部） 受賞者13名／総代21名
七尾木建安全推進協議会 パトロール
七尾内線安全部会員

5月23日 電気安全協力会七尾地区本部 推進委員会 委員 他

5月27日 北陸電気工事組合連合会 監事会（於：富山） 本部長 他

5月30日 第一種電気工事士免状の実務経験審査に係る説明会（於：金沢）
事務局 他

5月31日 青年部 ボランティア活動趣旨説明会（於：富山） 羽咋支部長 他

6月3日 石川県電気安全協力会 七尾地区本部 理事会（於：電力七尾） 理事 他

6月5日 広報委員会（於：県本部） 委員 他

6月10日 引込線施工者会議

1) 不良工事対応について 他

石川県中小企業団体中央会長表彰式

受賞者

6月12日 七尾内線工事研究会 幹事会（於：電力七尾） 幹事

6月13日 第三者損害賠償制度事故調査委員会
1) 第三者損害賠償制度適用申請に伴う事故調査について 他
配電・安全合同委員会（於：県本部）

委員 他

七尾内線工事研究会 委員会（於：電力七尾） 委員

6月18日 石川県電気安全協力会 七尾地区本部 推進委員会（於：電力七尾） 委員 他

6月19日 組合加入試験委員会（於：県本部）
本部長 他

6月20～27日

仮設開閉器耐電圧試験（本体とリードケーブル及び電線隔離器用ケーブル）

6社14式

6月24日 計器工事研修会 穴水会場（於：のとふれあい文化センター） 27名

1) 計器工事の手順・不良工事の実例について 他

6月25日 計器工事研修会 七尾会場（於：ワークパル七尾） 57名

1) 計器工事の手順・不良工事の実例について 他



6月26～28日

配電工事施工者 新入社員教育（於：県本部） 2名

加南本部

1月7日	新年安全祈願祭・顔合わせ	
1月7日	関係各所への挨拶回り	執行部
1月16日	外線施工者会議	
	配電工事安全管理について	7社
1月19日	新春講演会並びに新年会	
	栗津温泉〔のとや〕	65名
	「周辺情勢と小松基地の役割」	
	講師：小松基地司令 山本 祐一 氏	



1月28日 調査委員会
第三者事故調査・電気工事事業立入調査の実施について 8名

1月29日 トルクドライバー校正試験（大聖寺支部）

2月8日 総代選挙告示 無投票決定

2月8日 圧縮工具定期点検（メーカー点検） 組合

2月12日～3月10日
電気工事事業立入調査の実施
91事業所 調査委員6名

2月12日 配電工事安全研修会
安全作業について 28名



2月12日 配電工事講演会 31名
「北陸電力をめぐる現状と課題について」
講師：北陸電力株式会社
大西 賢治 小松支社長



2月15日 小松商工会議所小規模振興委員会
業務課長出席

2月20日 本部執行役員選挙告示 同27日投票日

2月27日 第6回執行部会
年度末から新年度にかけての運営諸
般について

3月5日 配電工事下期特別安全パトロール
外線現場3箇所、引込線現場3箇所、

3月11～14日
活線防保護具耐圧試験（外線施工者・

引込線施工者) 12名

3月14日 労働保険年度更新事務説明会
県地場産 油本出席

3月16日 青年部親睦会
てらおか風舎 12名

3月18日 内線工事特別パトロール 5現場

3月19日 年度末資材棚卸

3月21～25日
間接活線工具耐圧試験（委託委員会）
・配電工事、内線工事特別パトロール
計画について 17名

3月25日 北陸電気協会・優良電気工事業者表彰
(有)宮越電気商会
代表取締役 宮越 弘幸 氏

4月10日 第1回執行部会
組合運営諸般について

4月11日 全国さくらシンポジウム（小松市）広
報活動

4月14日 青年部定時総会
山代温泉 吉田屋山王閣 16名



4月23日 第1回役員会
組合運営諸般について 18名

4月24日 小松支社配電工事工量提示

4月24日 トルクドライバー校正試験
（小松支部）76本不良1本

4月25～26日
仮設GS耐圧試験 7台

4月30日 職員 山本 和子 退職

5月7～30日まで16日間
第二種電気工事士筆記試験準備講習会

講師：技術委員、青年部担当委員



5月9日 全体会議
粟津温泉「のとな」 64名
・平成24年度の事業報告並びに活動費
報告
・平成25年度の事業計画並びに活動費
予算案の件
・講演会:『発送電分離』とその問題
点について
講師：北陸電力株式会社
大西 賢治 小松支社長

5月13～17日 労働保険年度更新手続き 55社

5月13日 会館周辺クリーンデー
会館周辺の清掃 職員 8名

5月14～20日
高所作業車耐圧試験 20台

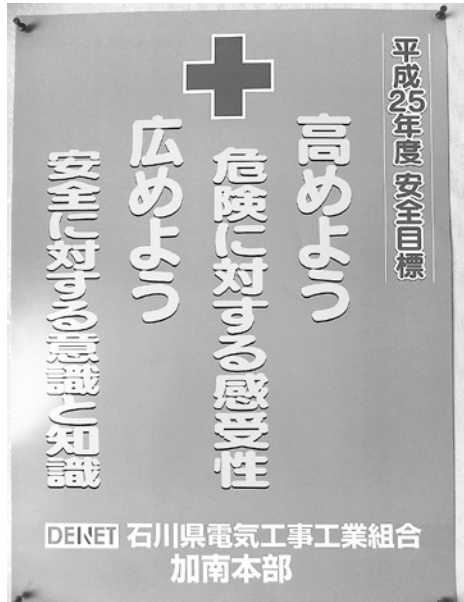
5月14～20日
圧縮工具圧力試験

5月31日 第1回委託委員会
・平成25年度事業計画について 13名

5月31日 第1回安全委員会
・平成25年度事業計画について 17名

6月1～30日まで
全国安全週間準備月間
・全国安全週間のほりを配付して週間
の準備
・平成25年度安全目標募集

- ・平成25年度安全目標「高めよう 危険に対する感受性、広めよう 安全に対する意識と知識」ポスター配付
- ・事業所訪問パトロール（大聖寺支部）
- ・内線工事自主安全パトロール開始（小松支部）



6月3日 電気工事士免状交付業務開始



- 6月4日 第1回SES委員会
事業計画について 13名
- 6月5日 第1回技術委員会
事業計画運営について 15名
- 6月6日 第1回広報厚生委員会

- 事業計画運営について 10名
- 6月7日 小松市安全運転管理者協議会総会
栗津温泉 法師
「無事故無違反運動成績優秀事業所表彰を受賞」
- 6月8日 第61回北電工組ゴルフコンペ 27名
- 6月10日 第1回経営建設委員会
事業計画運営について 13名
- 6月13日 組合加入試験委員会（本部一次面接試験）
- 6月18日 内線工事自主安全パトロール開始
～10月まで全事業所参加
- 6月18日 第2回委託委員会
安全作業・施工品質向上について
- 6月25日 計器工事教育
小松ドーム 98名
講師:白崎安全部長



平成25年度安全目標
「高めよう 危険に対する感受性
広めよう安全に対する意識と知識」
(株)今出電気商会 今出真稔

◆◆◆◆◆ 青年部だより ◆◆◆◆◆



県青年部部長

山 内 謙 一

今年度より、石川県青年部長を務めさせて頂くことになりました、シグマ電機の山内です。2年間よろしくお願いいたします。

さて、県青年部は昨年度、創立30周年を迎えることができました。これもひとえに先輩方のご努力・情熱、また県本部のご支援、ご理解があったからこそだと思っております。改めてお礼を申し上げます。

県青年部は3本部（金沢、能登、加南）の指導的役目を担っておりますので、3本部の青年部員のためになる事業を行っていきたいと思っております。特に力を入れていきたいことは、こういう経済状況であるからこそ、青年部員同士の情報の共有また、今まで以上に部員同士の親睦を深めていきたいと思っております。私も青年部に入ってから約10年経ちますが、青年部に入ってから思ったことは、「仲間」が出来るという事です。いろいろな団体がありますが電気工事工業組合は他団体にはない程、団結力があり、またみんな仲がとても良いという事です。もちろん同業者ですからよきライバルでもあります、何でも相談できる「仲間」の集まりだと思います。また、青年部員だからできる事という事がたくさんあります。そういうことを積極的に行い、より団結を深めることが出来ればと思っております。

今後の事業としましては、3本部合同で行う奉仕活動や研修旅行また、本部対抗戦のス

ポーツ大会等も行っていきたいと思っております。また、各本部の素晴らしい事業の情報も共有することにより、今まで以上に青年部活動を活性化していきたいと考えております。

仕事もちろん大切なことですが、青年部員だからこそ「今」しかできない事、それは仲間作りだと思います。私は常日頃から、青年部は森だという話をよくします。青年部員は木です。木は数本では強風にも勝てないし、動植物も成長しません。しかし、森になることにより、強風にも耐えられるし、動植物もたくさん増えて裕福な森ができます。森は青年部であり、木は青年部員、動植物はお客様です。私はそういう森を目指していきたいと思っております。

「夢を持つことは人を輝かせる。
希望を持つことは人を成長させる。」

青年部員は夢を持ちまた、希望を持って色々なことにチャレンジしてもらいたいと思います。

また、電気工事工業組合を魅力ある組織、また他業種との差別化を図ることにより、会員の増強はもちろん若い世代の方々に興味を持ってもらえるような業界にしていきたいと思っております。

最後になりますが、これからも変わらぬご指導、ご協力の程よろしくお願いいたします。

「発送電分離」反対決議

このたび政府は電力制度改革の基本方針を閣議決定したが、「電力の全面自由化」や「発送電分離」特に「発送電分離」については性急な改革は経済の成長戦略に反するにとどまらず、国民生活に多大な影響を及ぼすものである。

このため全日電工連は、次の理由により電力制度改革の見直しを求めるものである。

- 一 改革の目玉とされる発送電分離は、東日本大震災時の事例を見るまでもなく天災・自然災害等の発生時における大停電において一貫供給体制であるからこそ早期に復旧が可能となったものであり、これを破壊すれば社会に「安全」「安心」な電気を送り届けてきた今日までの我々の努力を踏みにじるものであり、電気の安定供給を損なうものである。
- 二 発送電分離により米国・欧州や韓国などで大停電を招いている事例を見るまでもなく、我が国はこれまで世界で最も停電の少ない国として高い評価を得てきた。これは永年にわたり築きあげてきた日本の文化にあったシステムであり、発送電分離が実施されればこれらが一朝にして崩壊される恐れがある。
- 三 諸外国の例を検証しても発送電分離後に電気料金が安くなるとは断言できない。我が国の電力自給率は4パーセントであり、高騰の要因は海外からの輸入コストにある。電力が自由化されても大幅な値下げが実現するとは限らない。電力の供給不足がつづけばむしろ料金が上昇する可能性が大きい。安価で安定した電力が揺らぐようではものづくりを中心とする日本経済の成長に打撃を与えかねず、制度改革の効果と副作用をしっかりと見極め安易な市場原理の導入で実施すべきではない。
- 四 国益の確保のためにどのような判断が適切であり社会の発展に繋がるかを真剣に討議し、我々の考えを広く社会や政治の場で提起代弁頂くため、全日電工連政治連盟が選任している相談国会議員を支援する。

連合会の総意として決議する。

平成25年6月26日

全日本電気工事業工業組合連合会
第86回通常総会

石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2013年4月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入をいただきましてご好評いただいております～

任意労災制度(業務中のおケガの補償)【業務災害総合保険】の特徴

1. 団体契約のため保険料が一般で加入するより割安です(50事業者以上の加入の場合15%割引適用)。
2. 従業員の方々からの個別健康告知は不要です。
3. 年令・性別に関係なく保険料が一律で全額損金処理できます。

※法人が契約者として、従業員全員のために負担する保険料は全額が損金扱いになります。
(法人税基本通達9-3-5, 9-3-6の2を準用 2013年4月現在)

こんな場合に
保険金をお支
払います。



職場に向かう途中の事故



仕事上の事故

☆今回更に補償を追加

- ①地震もしくは噴火またはこれらによる津波によるおケガを地震・噴火・津波危険補償特約をセットする事で、補償が可能になりました。
 - ②万一の訴訟・巨額賠償に備えて!「使用者賠償責任補償」
1. 労災高額判決・和解金などに最大1億円まで対応できます。
 2. 弁護士費用等の訴訟費用も賠償金とは別にお支払いします。

※使用者賠償責任限定補償特約(死亡のみ)および使用者賠償責任補償特約による法律上の賠償責任のお支払いにあたっては、政府労災の給付決定等の認定が必要になります。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレットをご覧ください。取扱代理店または弊社にお問合わせください。

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIU損害保険株式会社 金沢支店
金沢市上堤町2-37 金沢三栄ビル3階
http://www.aiu.co.jp
TEL 076-223-1144 FAX 076-223-0187

(受付時間) 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

(営業種目) 自動車保険・火災保険

賠償責任保険・その他各種損害保険



AIU損害保険株式会社
募集文書承認番号: A-000254

全日本電気工事業工業組合連合会「業務災害補償制度」

組合員のみなさまへ

組合員の方だけがご加入いただける「全日電工連認定制度」をご紹介します。
万一の事故に備えてご加入をおすすめします。

業務災害補償制度

「業務災害補償制度」にはこんなメリットがあります!!

- ◆スケールメリットにより加入費が割安!
- ◆経営事項審査の加点ポイント! (従業員・下請負人コースにご加入の場合)
- ◆政府労災の認定とは関係なく給付金をお支払い!
- ◆役員・個人事業主コースは24時間補償も選択可能!
- ◆従業員・下請負人コースでは従業員・下請け人を包括的に補償! 人数変動の報告が不要!
- ◆制度ご加入の皆様へ「全日電工連の安心サービス」をご提供!



<加入例> 役員・個人事業主コース/24時間補償・電気工事作業
加入型:E型1口(死亡給付金450万円・後遺障害給付金450万円～18万円
入院給付金日額4,000円・通院給付金日額2,000円)

本制度でご加入・・・ 9,280円(年額)
一般でのご加入・・・ 10,730円(年額)

※「一般でのご加入」とは本制度と同一の保険会社・保険商品・補償内容での保険料です。
※本制度では、多数割引を適用しております。

本広告は、従業員の安心保険(Jマスター)の概要を説明したものです。お申込みの際は配布しております専用のパンフレットをご覧ください。詳細につきましては、東芝保険サービスまでお問い合わせください。

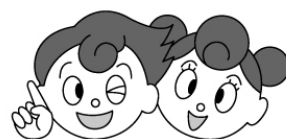
取扱代理店 東芝保険サービス株式会社中部支店 〒451-0064 名古屋市西区名西2-33-10(東芝名古屋ビル3F)
TEL: 052-528-1391 FAX: 052-528-1394
全日電工連制度専用フリーコール(東京)
(平日9:00～17:00 / 通話料無料) 080-050-02141
引受保険会社 日本興亜損害保険株式会社 北陸支店 〒920-0869 金沢市上堤町2-28
TEL: 076-231-3293 FAX: 076-260-4064

人も、会社も、**もっと**元気に！

中退共

CHU TAI KYO
小企業 退職金 共済制度

- ◆ 掛金の一部を国が助成
- ◆ 掛金は全額非課税。手数料も不要
- ◆ 外部積立型なので管理が簡単
- ◆ パートさんの加入もOK



詳しくはホームページへ

中退共

検索

(独) 勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部

TEL.03-6907-1234

FAX.03-5955-8211

建設業退職金共済制度(建退共)

事業主の方々が建設現場で働く労働者の共済手帳に、働いた日数に応じて共済証紙(掛金)を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界の仕事を辞めた時に、共済証紙の貼付数に応じて建退共が退職金を支払うという、業界全体での退職金制度です。

- ◆ 加入できる事業主：建設業を営む方
- ◆ 対象となる労働者：建設業の現場で働く人
- ◆ 掛金：日額310円
- ◆ 経営事項審査で加点評価の対象となります。
- ◆ 事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

☆加入手続きなど詳しくは、下記にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

(独) 勤労者退職金共済機構 建退共石川県支部

TEL 076-242-2608

<http://www.ishikenkyo.or.jp>

国の制度

5つの
特長

1 安全確実かつ簡単

2 退職金は企業間を通算して計算

3 掛金の一部免除

4 掛金は損金扱い

5 経営事項審査で加点

この制度は、事業主が建設現場で働く労働者の共済手帳に、働いた日数に応じて共済証紙(掛金)を貼り、その労働者が建設業界をやめたときに退職金を支払うという業界退職金制度です。

お知らせ

組合員の皆様へ

石川県電気工事工業組合

電気工事士免状交付等業務開始について

石川県電気工事工業組合では、先般石川県と電気工事士免状交付等業務の事務委託契約を結びました。具体的には以下の業務を6月1日より行っておりますので、ご案内申し上げます。

- 1 第一種電気工事士免状交付
- 2 第二種電気工事士免状交付
- 3 電気工事士免状（第一種・第二種）再交付
- 4 電気工事士免状（第一種・第二種）書換え

- 申請場所は各本部（金沢本部・能登本部・加南本部）で行っております。受付から約10日後に免状を申請者本人様宛てに簡易書留で郵送いたします。
（各本部に取りに来て頂いても構いません。）
- 必要書類などは組合HP（<http://www.dennet.jp>）をご覧頂くか、または各本部にお問い合わせください。
- 第一種電気工事士の申請には実務経験の審査があります。FAX等で事前に確認も致しますので、各本部まで気軽にお問い合わせください。
- 免状の返納に関しては、従来通り石川県危機管理監室消防保安課で取り扱います。
（TEL.076-225-1481）
- 組合では、石川県証紙の販売をおこなっておりますので、ご利用下さい。

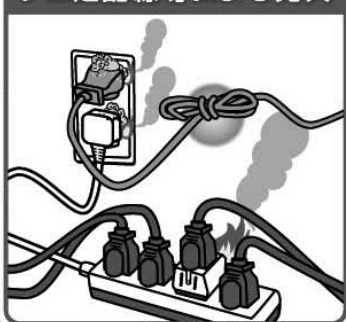
《注意事項》

- ・ 勤務先が組合の事業所であっても申請者本人が石川県に住民登録をしていないと免状交付はできません。
- ・ 再交付、書換えは現在のご住所に関係なく最初に免状を交付した都道府県知事に申請してください。

あなたが防ぐ電気事故

各地の
電気注意レポート

タコ足配線等による発火



設備の保守不良によるトラブル



汗などによる作業中の感電事故



自然災害による電気事故



高

台

電気工事は登録(届出)
標識のある工事店で



電気使用安全月間

2013年8月1日～31日

主唱：経済産業省

平成25年度
重点活動テーマ

- 電気はムダなく安全に使いましょう。
- 自家用設備の電気事故は適切な保守点検と更新で防ぎましょう。
- 突然やってくる自然災害にそなえ、日頃から電気の安全に努めましょう。

電気を安全に上手に使って節電しましょう!

主催 全日本電気工事業工業組合連合会
各ブロック組合連合会
各都道府県電気工事(業)工業組合

後援 消防庁
各都道府県
日本放送協会

第一種電気工事士のみなさんへ

平成25年度から第一種電気工事士定期講習は、新たな指定機関による実施となったため、従来の受講案内の送付がなくなります。

だから
登録！

電気工事技術講習センターに

登録すると 登録料
年会費 **無料で3つの特典！**

1. 受講期限に合わせて「定期講習受講案内・申込書」をお届けします。
2. 「定期講習受講案内・申込書」と一緒に、
電気工事に関する新情報『電気工事関連情報』をお届けします。
3. 定期的に、「電気工事技術情報誌」を無料でお届けします。

電気工事技術講習センターの
定期講習を受けましょう

過去20年の
講習実績と信頼

電気工事関係の
経験豊富な講師陣

わかりやすい
講習テキスト

まずは「電気工事技術講習センター」にご登録を!!
定期講習、行つた？

登録 は今すぐWEBで! FAX申込みの場合も用紙をダウンロードできます

一般財団法人 **電気工事技術講習センター**

<http://www.eei.or.jp> 〒105-0004 東京都港区新橋4-7-2 6東洋海事ビル4階
TEL.03-3435-0897 FAX.03-3435-0828

実施協力団体：全日本電気工事業工業組合連合会 日本電気協会

5年に一度の定期講習

お忘れではないですか？

「第一種電気工事士定期講習会開催日程のご案内」

開催日／会場名	申込書送付先
平成25年9月5日(木) いしかわ総合スポーツセンター	〒921-8062 石川県金沢市新保本4-65-22 石川県電気工事工業組合
平成25年9月12日(木) いしかわ総合スポーツセンター	
平成25年11月13日(水) 七尾サンライフプラザ	
平成25年11月20日(水) いしかわ総合スポーツセンター	
平成25年11月21日(木) 七尾サンライフプラザ	
平成25年11月26日(火) いしかわ総合スポーツセンター	
平成26年2月13日(木) 石川県地場産業振興センター	〒930-0858 富山県富山市牛島町13-15 百川ビル (社)日本電気協会 北陸支部
平成26年2月27日(木) 石川県地場産業振興センター	

電気工事業「国民年金基金」の お知らせ

1

資産運用会社「MRI インターナショナル」資産消失、詐欺容疑にて新聞等の報道がされております。当基金の資産運用は、国民年金基金連合会に「共同運用委託」しており、MRIにいつさい運用しておりません。

2

当基金のフリーダイヤルは、この9月末廃止とさせていただきます。経費削減のひとつの策として加入員、年金受給者方々にご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解、ご協力をお願いいたします。(平成25年2月19日代議員会承認)

●10月以降の問い合わせ

TEL 03-5232-5730 FAX 03-5232-5732

全日本電気工事業国民年金基金

- | | |
|--|--|
| <p>1月4日 仕事始め</p> <p>8日 三役会議（全日電工連）</p> <p>10日 組合運営研究会（石川県中小企業団体中央会事務局協議会）</p> <p>25日 選挙管理委員会
理事会・臨時総会（石川県労働基準協会連合会）</p> <p>29日 新年会</p> <p>2月6日 電設委員会</p> <p>14日 環境委員会</p> <p>19日 国民年金基金代議員会（全日電工連）</p> <p>20日 懇談会（全日電工連幹部役員・東北七県連合会・宮城電工組役員）</p> <p>21日 理事会・政連役員会、臨時総会・政連総会（全日電工連）</p> <p>3月2日 県青年部30周年記念式典</p> <p>6日 事業推進委員会（全日電工連）</p> <p>8日 国民年金基金加入促進部会（全日電工連）</p> <p>12日 理事会・代議員会（北陸三県電気工事業厚生年金基金）</p> <p>14日 技能全国大会PT会議（全日電工連）</p> <p>15日 技術・認証委員会（全日電工連）
総務委員会</p> <p>18日 内線工事特別安全パトロール</p> <p>25日 電気記念日式典（日本電気協会北陸支部）</p> <p>26日 理事会（石川県労働保険事務組合連合会）</p> <p>4月4日 配電工事事業主会議</p> <p>8日 第1回厚生委員会（北陸連合会）</p> <p>17日 監事会
平成24年度決算諸表の監査</p> <p>18日 第1回電設委員会・eドクター（北陸連合会）
総合政策会議（全日電工連）</p> <p>22日 能登本部全体会議</p> <p>24日 常務会
第72期通常総代会提出議案（予算・決算）について</p> <p>25日 第1回配電委員会（北陸連合会）</p> <p>5月1日 電設委員会</p> <p>8日 金沢本部全体会議</p> <p>9日 加南本部全体会議
監事会（北陸連合会）</p> | <p>10日 常務会
新旧役員会</p> <p>17日 理事会（全国労働保険事務組合連合会石川支部）</p> <p>21日 石川内工研役員会</p> <p>22日 第72期通常総代会
第51回優良従業員表彰式</p> <p>27日 総会（北陸連合会）</p> <p>28日 総会（全国労働保険事務組合連合会石川支部）</p> <p>29日 北陸支部大会（日本電気業協会）</p> <p>30日 理事会・総会（石川県電気業協会）
三役会・理事会（全日電工連）
電気工事士免状交付事務説明会（石川県庁）</p> <p>6月5日 広報委員会</p> <p>7日 総会（北陸原子力懇談会）
役員会（石川県中小企業団体事務局協議会）</p> <p>10日 総会・理事会（建産連）</p> <p>11日 総会（北陸地区電気エネルギーを考える会）
理事会・代議員会（北陸三県電気工事業厚生年金基金）</p> <p>13日 安全・配電合同委員会</p> <p>14日 総会（石川県農業電化協会）</p> <p>19日 組合加入試験委員会
常務会</p> <p>25日 三役会（全日電工連）</p> <p>26日 理事会・総会（全日電工連）</p> <p>28日 総会（石川県中小企業団体事務局協議会）</p> |
|--|--|

こうほう 第128号

発行 2013年7月10日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076) 269-7880(代)
FAX (076) 269-7881

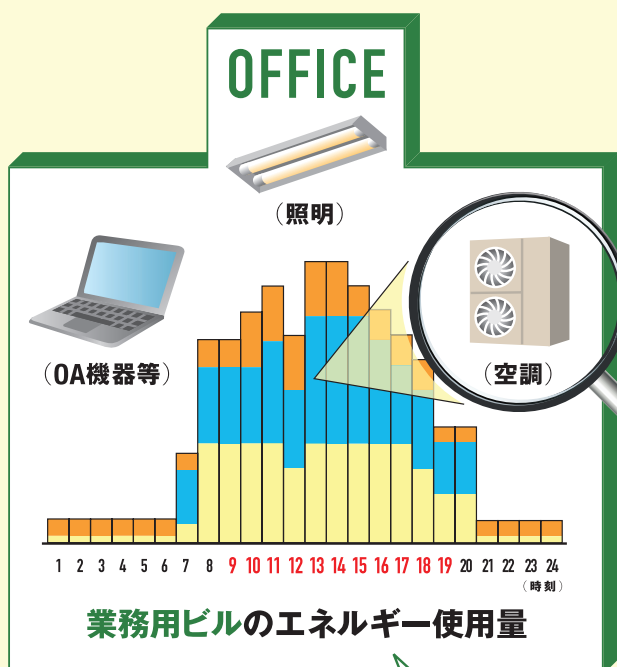
これからの省エネは、 エネルギーの

「見える化」

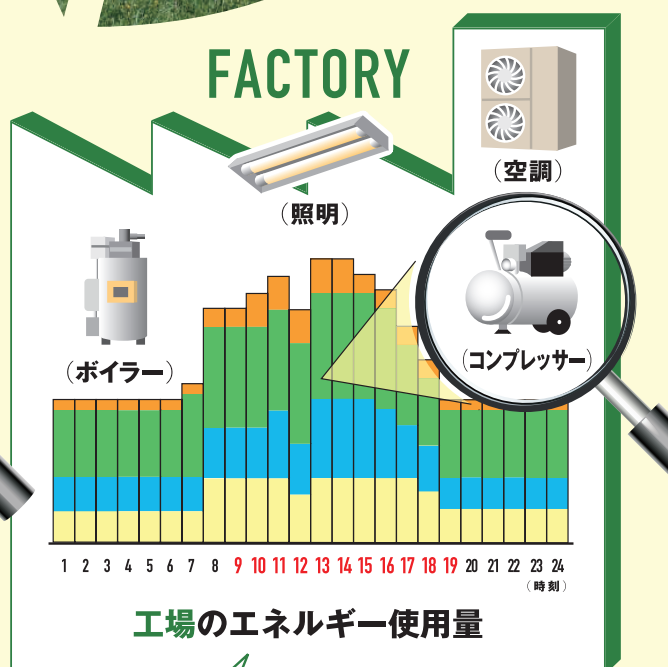
が有効です。



OFFICE



FACTORY



照明

空調

生産
(コンプレッサー、ボイラー等)

その他
(OA 機器等)

お客様の「見える化」への取組みには、 私たちの「エネルギーソリューション」がサポートします。

「見える化」への取組みは、施設全体のエネルギーの流れ・使用量・使用時間を各種計測等で数値化・グラフ化し、データを分析・解析することで、省エネポイントが明確になり、省エネ対策が効果的に実施できます。北陸電力では、エネルギーに関する専門知識と各種計測等で、お客様のエネルギーの効率的利用のサポートに取り組んでまいります。



お問合せは 営業推進部 商工コンサルチーム ☎930-8686 富山市牛島町 15-1 TEL 076-441-2511 (代)